京城日報

廿五日夕刊

定價　一部金五錢　一ヶ月金六十五錢
廣告料
發行兼編輯人　小川三之介
印刷人
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社

○誓て獨宰主義を倒さん

露國遣米大使の聲明

露國遣米大使ボリズバクメチエフ氏は露國は誓つて戰爭に全力を傾注し獨逸の獨宰主義を倒さずんば已まずと聲明せり（倫敦電報）

○勞兵會講和勸告決議

全露西亞兵卒勞働者代表會議は現假政府の聯立內閣を是認し此勢力の革命の精神に叶へるを承認し各國政府に向つて非併合非賠償の條件の下に講和を促進せん事を勸告する決議を爲せり此の決議は重大なる力を有すと認めらる（露都電報）

○露の協商國會議準備

近く條約改訂も提議せん

外相テレスチエンコ氏の新聞記者團に對する言明に依れば目下露國は協商國會議に就て準備中なり而して日英露及び露佛協商の改訂も必要なれば近く之等諸國に對し公式に改訂の提議を爲すべしと（露都電報）

○希臘新王の宣誓

希臘新王アレキサンダーは首相ザイミス氏に親書を送り聯合國と協同するの宣誓を與へたり（桑港電報）

○遣日米特使派遣決定

華盛頓來電＝ウキルソン氏は米國一流の人物を選拔し遣日特使として派遣する事に決したり特使は我が石井大使の著米と殆んど同時に日本に到著すべし其の使命は戰爭の目的に關し日米兩國の理解を圖り且其の目的遂行に有効なる協商を爲すにあり（紐育電報）

◉內相の新黨計畫

後藤內相は維新會の一部と憲政會の一部とにて新黨樹立の計畫ありと（東京電報）

○憲政會の不信任理由

憲政會の寺內內閣不信任理由は凡そ左の四點に在るが如し（東京電報）
（一）非立憲（二）無經綸（三）外交失敗（四）選擧干涉

○總監一行通過

李王殿下出迎の爲め山縣政務總監古海總長の一行八名は二十四日朝釜山著連絡船高麗丸にて下關に向へり（下關特電）

○軍司令官動靜

朝鮮駐剳軍司令官秋山大將は二十三日夜新義州一泊二十四日朝安東縣著採木公司、鴨綠江製材公司を視察せる後同岩浦に往復し二十六日新義州守備隊を檢閱し二十六日午前八時卅五分同地發平壤に向ふ筈（安東縣）

○荀署長逝去

大阪西警察署長荀榮之進氏は二十三日心臟痲痺にて逝去せり（大阪特電）

○吉林防穀實施期

前に吉林商會及び農會より食糧出境の禁止を請願せるに對し郭省長は之を高粱、小米の二種に限定し來る七月十六日よりその出境を一切禁止する旨各道尹に通電し各國領事に照會せしめたり（吉林）

◉長春農安輕鐵計畫

長春農安間に輕鐵布設の計畫なり數日前該線起人等吉長線に依りて省城に赴き郭省長に稟請する處ありしが認許ありし次第直ちに事務所を設立し募株に著手すべしと

◉上海糖業恐慌

上海糖業者は從來內省及び汀長一帶を主なる消費地としゐたるが昨年日英の火車糖が通商各埠に支店を開きて直接販賣を始めしより大影響を受け疲弊の餘廢業せし者十餘に上りたり然るに日英兩糖商の其後內省各地に販賣店又は依託販賣所を設くるもの百餘に達したるより上海糖商等の苦痛一方ならず且つ薄資本者の倒產する者五六相續き恐慌漸く起らんとするより糖商組合非役等は目下之れが救濟策に就き研究中也（上海）

◉軍經理部長會議（第四日）

駐剳軍司令部會議室にて開會中の經理官會議の第四日は日曜に拘はらず二十四日午前八時半より會議室に開會午前午後を通じ事務の打合せ並に經理研究會をなし四時會議を終れり

◉秋山大將動靜

西鮮巡閲中の秋山軍司令官松井參謀野津副官の一行は二十四日採木公司製材場及び龍岩浦を視察したり

◉鮮鐵倉庫と保險

六月二十五日より鮮鐵營業倉庫受託物に對する保險金は全部包括して五十萬圓と改定されたりと

◉恩賜機業分場

恩賜授產京城機業場は從來其の業務の繁榮に伴ひ擴張の必要を認められ居りしが今般仁川府山手町三丁目の地を卜して恩賜授產京城機業場仁川分場の新設成りたりと云ふ

◉學校組合新設

京畿道管內高陽郡內には人口の增加と土地の繁榮に基き從來學校組合の缺乏を告げ居りしが土地官民の熱心なる斡旋により同郡中面一山里を其の區域として一山學校組合の新設今般其筋より許可ありたりと

◉東洋拓殖の諸問題

改正法案議會通過後の新生面

東洋拓殖會社理事　高瀨梅吉氏談

久しく東上中なりし東拓理事金融部長高瀨梅吉氏の歸京を二十三日夜烏山に迎ふ、東拓は目下多くの問題を眼前に控へ居る事とて記者の矢繼ぎ早に放つ質問に對し、氏は例の如く明確の態度を持し大要左の如く語る

▲改正法案の提出　永い間の問題たる東拓改正法案も政府案として開會中の特別議會に愈々提出さるゝ事となつた、內容は予も會社當局の一人として全く知らぬとは申されぬ、但しまだ其の詳細を語る時期でない、併其の大要は一般に傳へらるゝ如く（一）副總裁の廢止（二）理事一名減員（三）金融機關の活動區域擴張（四）移民事業範圍の擴大其他である（一）及び（二）は既に現在に於て減ぜられてゐる（三）及び（四）の乃ち會社事業範圍の擴大が改正法案の主眼と云へる、而して右改正法案に對する議會の形勢の如き何等予等は關知する所がない、前回の如く折角政府案として提出され與黨多數の場合でも握り潰される事もある、從つて前途の豫測はつきにくい、予等は唯其通過を切望してゐる次第である

▲營業範圍の擴大　改正法案通過實施の暁東拓の營業範圍は之れを滿蒙のみの進展に止むる譯ではない、會社の營業は廣い範圍に於て之れを實行し得る事となるであらう、それは從來東拓の營業は韓國內のみに限られてゐた、其の制限を今回撤廢する事となるのだから、會社は必要に應じ其の手を各方面に延ばし得る譯である、然し彼の南米や南洋の移民に資金の融通をすると云ふやうな事は仲々早急に實行すると云ふ譯には行かぬだらう、矢張り改正案通過實施後の第一著手は滿蒙に於ける不動產金融並に土地に對する經營と出て行くのが順當だ、滿蒙の不動產金融は前內閣で立案した滿洲銀行に更る位の意氣込みだが、初めから機關ばかり大きくして全く算盤のとれぬ仕組にするのは無論考へものだ、或る程度迄の犧牲は止むを得ずとするも、そこに相當の分限をつけねばならぬから、會社の滿蒙に於ける支店とか出張所とか云ふ機關は差しづめ奉天並に外一二箇所位に留め、其他は東拓と密接の關係ある某大銀行の滿洲支店に代理貸附を依賴する事となるだらう、それに就ては既に其銀行に對し交涉を進めてゐる、又土地經營の方は移民も成方法で收容し、農作も亦如何にかしてやらねばならぬ、其の方法も略立つてゐる、然し詳細は予の主管でもないし、之を後日に讓る事としやう、唯求めてゐると仲々其の著手は出來ぬ多くは收益を長い間に期せねばならぬやうだ

▲東拓と資金　營業區域が擴大して來れば、當然其の活動の源泉たる資金の增大を必要とする、然し之れは多く顧慮しなくとも現下の金融狀態並に近き將來に於ける財界の資勢は會社の融通をなすに多くの困難を與へぬであらう、尤もそれも非常に多額とか極めて低利にとか云へば問題だが、普通の條件ならば敢て難かしくはない、御承知の如く會社は拂込み資本金の十倍乃ち一億圓迄は政府の保證を得て社債を發行する事が出來る、既に約二千萬圓は佛國で發行してゐるが尚ほ八千萬圓に政府の保證による募債能力を有してゐる、然し政府保證の社債は議會の協贊を必要とする、但し今期議會に其の提案はないやうだから、會社は年內に募債などをする事は出來ない譯だ、乃で差し向き入用の資金を生ずればまだ定まつた譯ではないが內地の某方面より之れを借入るゝ事とならう

▲政府補給の二案　補給金案は政府部內でも從來の如く年額三十萬圓宛を會社に與ふるか、若くは政府持株六萬株三百萬圓の配當を免除するか、の二案あるやうだ、後者は消極的の補給とも云ふべく、年六分五厘の配當とすれば其の免除額十九萬五千圓となるのだから、會社の手取は十萬圓ばかり減ずる勘定だ、然し理論上より之れを觀るに予は政府持株無配當となる方正當のやうに思ふ、何となれば（一）會社が生れた許りで之れから出發するのなら新に若干の補給を要するとも云へるが、既に九年の間經營を續け、然も一年は全然補給なしに配當をなし繰越金を剩してゐるから、卅萬圓の補給をぜひ必要とすると主張する論據は若干弱いと云はねばならぬ（二）卅萬圓の補給を得てゐると會社の利益が增大し一割以上の配當をなすやうに至れば其の超過額を削らるゝ譯だが、政府持株無配當なら左る場合にも率等の保護を受け得るのである（三）政府及び民間の持株より出來た特殊會社の實質から云ふも其の保護法の方が理に協つてゐるやうだ

▲東拓本社移轉說　東拓本社の東京移轉說ですか、其の主な理由は會社の營業範圍が前述の如く擴大すると、中央との交涉を自然繁くするから、旁々便宜上之れを移すのだ、然し目下在京城の機關を擧げて東京に持つて行くのではない、東拓の根幹は朝鮮にあり、其の經營機關の大部分も之れを朝鮮に置かなければならない、東拓の本社は名義丈けを東京とし、社員の如きは遠き將來は兎に角、さう深山東京に置く譯でない、重役は目下の如く內鮮間を往來し並に滿洲にも時々出向するであらう、乃ち東拓の本社移轉說は或る大規模の製造工業會社が工場を東京に設けても、本社は便宜上東京市中に置くと云ふやうな譯合である、其の實行期は改正法案の實施後協議決定するのでまだ明らかに申し上げ惡い云々

◉市街稅滯納原因

大正六年度京畿道管內第一期市街地稅滯納額は二萬三千九百七十八圓十二錢五厘なるが今其原因を聞くに貧困に因る者一千五十六人稅額九百七十八圓七錢五厘怠慢に因るもの一千百六十一人稅額六千〇卅一圓八十四錢金錢不如意に因るもの七百二十八人稅額六百十七圓九十三錢金利を利せんと欲するもの百二十四人稅額九千百六十六圓十六錢課稅上不服あるに因るもの三十五人稅額八百五十四圓三十四錢納稅管理人の怠慢に因るもの百八十二人稅額四百七圓三十五錢納稅の委托を受けたる者の收めざるもの六十人稅額百五十八圓九十錢納人死亡又は所在不明に因るもの五百九十八人稅額六百八十七圓七十錢納人轉住又は不在に因るもの一千四百二十一人稅額二千五百六十五圓四十三錢納稅者名義人と實際納稅者と相違に因るもの百〇三人稅額百四十一圓九十三錢告知書の遲延に因るもの百七十九人稅額三百六十八圓四十七錢因みに納人死亡又は所在不明等に因るもの及納人轉居又は不在に因るもの凡て納稅告知書の送達後事故發生せしものなり

◉青山學院校友會

東京青山學院出身者は二十五日午後六時より本町江戸川に於て朝鮮在住者の懇親會を開催する由なるがハリス博士、國澤滿鐵副總裁も出席すべしと

◉印刷組合店員表彰式

京城印刷同業者組合にては廿四日午前十時より同組合所屬店員職工にして滿三箇年以上勤續の者の表彰式を擧行したり

◉鴨江材活況

鴨綠江採木公司の調査によれば去る五月中の同江材流下數は筏數三七九連數一一、六二八に達し支那へ四〇、〇四七連朔（七、八五〇連の輸移出を見たるが同月中は船腹不足を告げ輸送意の如くならず加ふるに支那政界の動搖起りたれば北京天津方面の市況如何と氣遣はれしも事實は大なる影響を認めざるのみならず滿鮮一帶の製材需用は未曾有の盛況を呈し安東の製材業者は晝夜兼業猶之に應じ能はざるの狀況なりしを以て役は著安と同時に取引せられ市況益々活氣を呈したりと（安東）

◉鐵道橋梁新設

德源郡及び元山府を界せる山崎川は每年雨期に入るや氾濫し附近人家は勿論農作物の被害夥しきを例とせるが之が最大原因は一に鐵道線路に據りて流水を堰留するものなりとて同地附近民人は鐵道側に向ひ線路附換の議を請願せるに對し當局に於て實地調査の結果愈々之を改築し東拓出張所附近線路を橋梁と爲す事となり二十一日入札に附したるが二萬八千圓にて市內中川某に落札せるを以て契約手續終了次第直ちに著手する筈なりと云ふ（元山）

◉北鮮鯖豐漁

當近海に於ける鰯漁は例年十數萬尾の水揚げを見るを例とせるが本年は漁期に入りて以來未だ數千尾に過ぎず不漁の聲み傳はり居れるに反し鯖漁に至つては二十日迄に既に五百五十萬餘の水揚を見今後尚當分は漁獲ある見込みなり殊に最近新浦及び西湖津附近沿岸を視察して歸來せる人の談に依れば馬養島並に茂桂里の二箇所に漁場を有する香椎大敗漁場にては鯖群の集來夥しく却つて大漁ある每に其處理に困じ大部分は之を〆粕になし居る狀況なりと尙ほ本年中數日前迄に東沿岸にて漁獲せる鯖は無慮二千萬尾を超ゆんと云へり（元山）

◉東拓改正法案內容

東洋拓殖會社改正法案の內容は副總裁を廢止し理事の員數を減じ業務種類の改正、定期預金許可の外從來の政府補給金三十萬圓を辭退し其代りとして政府の特惠を要求するものなりと（東京電報）

◉李總理內閣の任期

李經義氏を總理とする內閣の成立は愈々確定せるも其任期は極めて短かるべしと觀測せらる（北京電報）

◉墺の對獨離脫運動

墺國內に獨逸との離脫運動勃發し革命に均しき情勢を呈しつゝあり（桑港電報）

◉白耳義總領事避暑

京城駐在白耳義總領事ジョーセ、ブリボシア氏は避暑の目的を以て十九日夕著元せるが海水浴場山の洋館を借り受け約三箇月間滯在する由にて家族は二十三日夕著元す因にコールブラン氏も同居し當地に今夏を避暑する由（元山）

◉木原中佐內地歸還

步兵第七十七聯隊附木原中佐は二十二日午後一時三十九分發列車にて內地歸還の途に就けり聯隊及び憲兵隊將校の見送盛なり（平壤）

◉橋本釜山署長歸任

釜山警察署長警視橋本第一氏は府醫研究の爲め福岡大學病院に入院中の所廿三日午前入港連絡船さくら丸にて歸署せり（釜山）

◉大連より啓上

二十一日　通信員

▲田中參謀次長の來遊は大連及び旅順方面に一大威力を加へられたるの感有之申候、次長は實に我が陸軍のオーソリチーといふべく、而も軍界の支那通として好んで支那方面の視察研究に重きを置かるゝ所、吾人の特くに敬意を拂ふ所以に御座候、今回の漫遊は先づ南支方面より始められし爲め南方の氣受け頗る宜しく、北京に於ても南方人士の歡待に劣らず北洋派の送迎頗る鄭重を極めたりとのことに御座候、奉天に於ても張督軍等の歡待到らざる無きは云ふまでもなく、其の大連旅順の視察によりて特に次長の身邊一層の光明を發揮するに至るべき事を存候、さるにても昨今アメーバ赤痢に罹めりその報を聞ける吾人は國家の爲め切に加餐自重以て健康恢復せんことを祈るものに御座候

▲滿鐵の多忙　は今や其の極に入らんとしつゝある模樣に御座候總裁は東京にありて政府當局との折衝に忙がしく、副總裁は京城に出張して鮮鐵との交涉多忙なるべく、但理事は豫算上の諸問題を提げて上京し、龍居理事は東京詰として總裁を補任し、川上理事は一昨日京城經由歸社せるが暇まるに暇無之近く露都へ出張する由に御座候、而も川上理事の此の行頗る重要の意義あるものゝ由、吾人は政府と云はず滿鐵と云はず我が官民一致して戰後の經營準備の爲め今より大に活動せんことを希望し此行を祝福するものに御座候斯くて滿鐵本社には改野樺山二理事により內外重要の事務を取扱はれ是亦頗る多忙のやう見受られ申候

▲山內長春領事　は夫人同伴二十一日哈爾賓丸にて歸任即夜北行致し申候、領事は猩紅熱發生の爲め二箇月間上京したるものなるが、一時轉任の風說ありしに拘はらず寧ろ悅んで長春に歸り、外交官の任地は支那に限ると申し居り候、氏曰く外交の批評は隨分酷なれども、何人か局に當るも日本の外交はさう安々と參るものに非ず、若し批評を受けぬやうな外交が出來る時は即ち相手の國々が無くなり隨つて外交絕滅の時ならざる可らず、吾等は局外者の批評を甘受し他山の石として切磋琢磨の料となるべきも、偖て國民の政治及び實業方面の活動も甚だ感心せぬこと計りにて、吾人をして批評せしむれば、隨分と共に弱せざるべし、併し乍ら批評や惡口の交換は何等要なし、總てのことは國家本位にて打つて一丸となし各方面に思ひ切つて勇往邁進すること必要なるべし殊に滿蒙の商業貿易に從事する人々の大奮發を望む云々と、大に滿蒙在住者の傾聽すべき處と存じ申候

◉木浦

▲扇海丸出動　木浦警備母船扇海丸は二十五日午前六時發靑山島經老島突山麗水方面に出動の筈なるが木浦衛生組合正副區長中十八名及び木浦海藻組合員七名便乘し目下靑山島のサバ大漁の狀況及び漁季に於ける衛生視察をなし各碇泊地を視察の筈なるが林警察署長特に同乘すべしと

▲補助金下附　木浦敎育會經營の通學不可能の兒童收容所たる兒童學寮に對し每年總督府より補助金下附を受け居れるが本年度五百五十圓は二十二日下附の指令に接手せりと因に目下收容兒童二十名にして一般に好成績なりと

▲度量衡講話　總督府囑託深田千太郞氏は二十三日來木二十五日午前九時より內地人の爲めに公會堂にて二十六日午前五時より鮮人の爲めに普通學校にて度量衡に關する講演をなす由

人事消息

▲高瀨梅吉氏（東拓理事）二十三日夜歸任
▲齋藤一郞氏（兒島農具株式會社技師）同夜入京山本へ
▲阿部治七氏（漢陽事務官）二十四日朝退京
▲朝田全南道技師▲鈴木原模範場技師　同上
▲三宅長策氏（辯護士）同上
▲向坂水原模範場技師　同日夕退京
▲ミーラー氏（京城駐在米國領事）夫妻二十四日午前八時半出發米國へ歸國
▲堀中尉（鎮城憲兵隊補官）二十四日退京歸任

觀火大會

句

○流燈ゆらぐ舟の人も總立ち
流燈ひろごれり舟々きしる
平　虎

○夏烟火江に龍燈ひろごれり
狼火信號に吹奏盛る夏の宵
龍燈に江も明るし澄む空の色
耳　目

○龍宮よりの使の灯流るなり
百火千火揚る流る涼し
水漫人の岸觀火に明るし
流燈の數觀衆に等しかり
水少なに觀火會雨乞の意か
觀火會更けて五日月著るき
池

時間表
（行南）（行北）
[illegible]

夏の夜には 慫んな犯罪が多い

＝鍾路警察署で即決處分を受附る＝

鮮人が一日に三十名から六十名

蒸し暑い天候が打續く今日此頃は人の氣分も自然と焦立つて來るものか種々の事故が湧いて來る、そこで警察官憲でもなか／＼忙しい、其の內でも警察犯處罰規則、道路取締規則、各種營業取締規則、衛生規則等の違反者が多いことである、是等は微罪として夫れ／＼警察署で即決處分を受ける、殊に朝鮮人の多い鍾路警察署管內の如きは

◎一日に處罰される 鮮人が二三十人乃至多い日は五六十名もある爲係員は目を廻してゐる先づ多いのが深更迄酒を飲んで騷ぎ廻る者で、朝鮮人の勞働者などには一定の住家も無い者が多いから其の日の收入で酒幕などで飲食し夜は蒸暑いものだから何時迄も寝に就かず市中を徘徊して路傍に横臥し又は歌を唄つたり喧嘩をしたりして

◎安眠妨害を爲す者が甚だ多い其他路上や溝渠に放尿し便壺の物や汚物塵芥等を所嫌はず撒散らして交通を防げ、道路下水溝等を汚す者もある、性のよくない者になると深夜通行中の婦女に尾行し、又は出稼ぎする怪しい女等もあるので本町警察署管內北米倉町の如きは鑑札のない十三四歲位の朝鮮人少女で處罰されたものが澤山ある、其他本町通りや南大門、黃金町、鍾路通りのやうな

◎交通の激しい場所で荷車や牛馬を路中に放置するものが多く、其れに狂犬病豫防の爲め畜犬の繋留方を示達されながら之れに違反した內地人が大分ある、發見されたものは悉く科料に處せられてゐる、其れから新町や其他の內鮮娼妓が制限區域以外に出て科料に處せられたものもある、店員や學生が警鈴のない自轉車や夜間無燈火で疾走し、或は街道で

◎自轉車の稽古乘りをやつて告發されるものもある、町並木の枝を折つたり、山の中で賭博を開張したり、無鑑札で古物や氷行商を營み、或は取締りを受くる營業者が規定の屆出を怠つたり、內密に營業するものが續出してそれ／＼處罰されてゐる、一體斯う云ふ即決處分を受くるのは僅かの不注意から起る、處罰されるものは內地人側は餘程尠く殆ど朝鮮人で

◎それも最も下級の者が多い、しかし時々地位身分ある者で違反者がある、殊に朝鮮人側には夏季種々の病氣が流行すると加治祈禱を名として巫女の跋扈することが夥しく醫師醫生の向ふを張つて金品を捲揚ぐる曲者がある、鍾路警察署では頃日多數の巫女を檢擧してゐるが是等も大抵即決處分を受てゐる

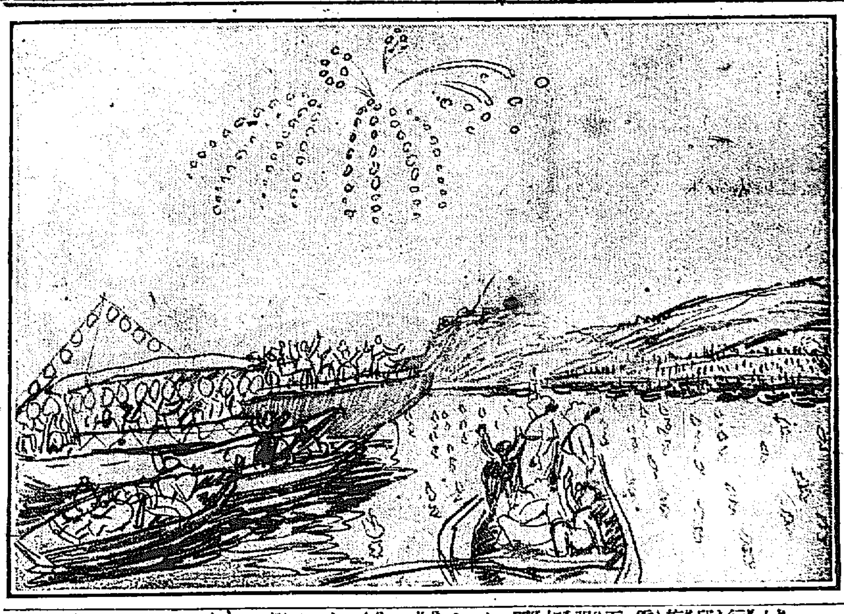
◆李王殿下

二條離宮に成らせらる

京都圓山長樂館御滯留中の李王殿下には二十四日午前十時出門自動車にて消野町二條離宮に到り次いで聚樂院離宮に成らせられ御歸舘相成たり（京都特電）

◆李王殿下に献上

西本願寺より佛壇一組東本願寺より香爐一盒菓子等を李王殿下に献上せり（京都特電）



◉大阪商船汽船の坐礁

大阪商船第六宇和島丸は二十三日夜三重縣大王崎附近にて坐礁大破損せりとの報あり（大阪特電）

◉攝津大椽銅像 大阪に建てん

大阪にて淨瑠璃の名人攝津大椽の銅像を建設すべく岡崎雪聲氏に依賴せり（大阪特電）

◉若藤が貰つた

朝鮮人の力士

大食なので雇つて呉れるものが無い

大相撲太刀山伊勢の濱一行が大邱興行中高城大邱警察署長の勸誘と大邱南部岡町渡邊嘉平次氏の熱心な周旋で年寄若藤が貰ひ受けた朝鮮人申雲岩といふ男がある、身長五尺八寸五分體量二十三貫一百匁力量他まで強く今まで大邱附近に催される素人相撲に出ると誰れ一人として彼れに匹敵するものなく爾々神通川と呼ばれ朝鮮人間に於ける

◆相撲の大關 であつた、彼は北城郡に生れ當時達城郡に居住して居る申天亡の三男であるが頗る日本語に巧みで平生は遠山喜八郎と稱し馬車屋を營み安東方面に通つて居た、從つて大邱附近の日本人間にも多くの知己がある、性來至つて力業に強く時々他人の家に雇はれた事もあつたが大食なので二度と雇つて呉れるものはない、曾ては相撲取りにお誂へ向きだから是非相撲取りになれと昨年西の海が朝鮮巡業當時に頻りに勸められた事もあつたが今度は彼れも意を決して若藤部屋に貰れたのである彼れは至つて親孝行者で朝鮮人には珍らしい

◆意志の鞏固 な男であるから今度若藤部屋に弟子入りをして後は立派な關取りにならなければ決して二度と故鄕の土を踏まぬと敦圍き兩親や兄弟に別れを告げた、竹崎大邱府尹は彼れが力士になつたのを歎び大邱第一の遊園地たる公園の名に因んで特に達城山といふ名乘を與へた（大邱）

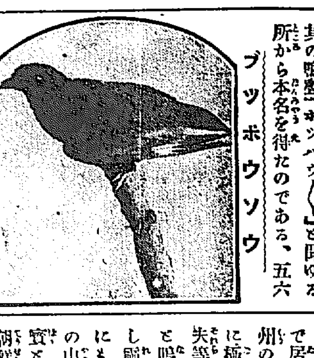
◆珍らしい

朝鮮の鳥

✿✿✿五六月に南方から渡つて來る鳥✿✿✿

◆ブツポウソウ 鳴禽類中佛法僧科に屬する美鳥である、前のカウライウグヒスと同じく色彩濃厚であつて熱帶產たることを現して居る體色は主に青綠色であつて頭部黑色咽喉部鮮明なる瑠璃色翼及び尾羽は紫色で其の先は濃紫色である、深山幽谷樹木繁茂せる林中に棲み其の飛ぶやなか／＼迷い且つ其の體色が樹陰に相應する所から認め難い

◆日中も飛翔 すれども殊に薄暮の候に盛んに飛び廻り



ブツポウソウ

廣い隅で飛蟲を捕食する樣燕の樣である、夫れで英名をインデアンブロード、ビルドローラーと云ふ其の鳴聲「ボッパウ／＼」と聞ゆる所から本名を得たのである、五六月の頃に南方から渡つて來て老木の空洞に巢を造つて其の中に三四個の卵を產む、其の卵が孵化して充分飛翔し得る樣になると親鳥と共に暖地に向つて飛んで行く其の頃は秋である、朝鮮には隨分多く

◆人家に近い 所にも棲んで居るが內地では紀州の高野山武州の高雄山江州の比叡山等の深山に極く稀に居るばかりである夫で夫等の地方に居る人は「佛法…僧」と鳴くと云つて所謂三寶の鳥と稱し靈鳥視して居る、支者の百鳥譜にも「佛法僧と啼く鳥あり高野の山にのみ住むなる、これをも三寶とこそいはめ」と書いて居る、朝鮮滿洲に棲んで居つて冬になると印度シャム馬來諸島等に移る、世界に棲む佛法僧科の鳥は約三十六種ある何れも其の羽毛の色彩濃厚で熱帶產である

◉三年以上勤續

店員表彰式

京城印刷業組合員の店員にて滿三箇年以上勤續したる者の名譽ある表彰式は二十四日の午前十一時より京城商業會議所樓上で開催された式は組長山村貞雄氏の開會の辭に始まり次いで組長の式辭を了つて金谷充井及び原田商業會議所會頭の祝辭朗讀がありそれをまた夥多の鮮人に向つて會議所員の通譯があつたかくて京城印刷の卜部常次郞氏の答辭朗讀によつて記念品の授與を終り午前十一時過ぎ芽出度く式を終つた猶ほ此の日の名譽ある人々の中には製本係の內地人の婦人をはじめ鄭富河なる鮮婦人も混つてゐたがこれ等の婦人は何れも男に劣らぬ優秀なる技倆を有つた者多く加ふるに感ずべき精勤者が多かつた、猶ほ這回は第二回の表彰式なれどこれからは滿四年五年の表彰式を擧るとの事、因に感ずべき勤續者の氏名は次の如し

△日韓印刷 朝日敏六、池邊彈、高木久吉、金子榮太郎、吉田林之助、鄭富河、安貞植、李永浩

△京城印刷 森直介、卜部常次郎、田上來助、加賀谷重、朴泰仁、[illegible]、咸仁範、朴明煥、洪梓求、馬駿成、金應天、鄭永吉

△大和商會 上野榮治、梁士成、崔泳澤、李點龍、朴喜昌、趙貴成、劉吉相

△土佐紙會社 矢野佐七、岡村武治、[illegible]、久松憲一、池光鉉、中內庄吉、森澤廣吉、[illegible]、李根澤、江口男依、田村喜子惠、奥村よね、[illegible]、奥村よれ、村岡あい、上野ひな

△播本印刷 白石秀信、山本慶治、小貫頼方、松田吉太郎、金應洪、金鷹鎮、清水十エ、朴貴童、金順泰、劉應相

△龍山印刷 有松猶夫、池下勘一、裴文永

△近澤印刷 深田佐市、井ノ口芳雄、徐相鎬、楊木喜三郎、金田植、崔成忠

△北內印刷 一山田[illegible]、崔成弘、金昌淵、金錫根、[illegible]

△大養帳簿 美樹林、李時裕

△初田活版 文俊植、彼昌錄、黄錫明、[illegible]

△戸部印刷 遠藤重、林瞬柄、方[illegible]

△糀谷印刷 野根外

△磁田印刷 小泉喜四郎、金[illegible]、任武烈、[illegible]

△中山印刷 中島勝太、桐田政市、金[illegible]

△佐竹 韓泳喆

△共盛堂 長澤俊郎、植原猶一

△東洋堂 植苑明、姜元伊

（合計九十名 店員二十名 職工七十名）

◇黃金舘出演 松旭齋天一 （右同天華）

◉崖から蹴落す

平北熙川郡眞面長坪里酒類製造業韓基淳（三五）は五月三十一日酩酊して妻呉泰順が不義を働きたるを責め立てたるに同女は家より逃げ出したるより追跡して[illegible]中二男炳萸（四）が泣き縋るを五月蠅いとて足にて蹴りたるに路傍の崖下に墜落して遂に絕命するに至り基淳は熙川分隊杳川派遣所にて取調べの上檢事局へ送らる

讀者文藝

△物は付（引張るものは）

○どゞよう 樂（一等） 蔚州 久住松月

△鉄魚鍛の布團 京城 上田生

△彦五郎の車 龍山 多美郎

△安いバリカン 龍川 關ヶ原

▲漢れの本社觀火會が始まる前河畔のトタン屋根倉庫わきの瀨で鯉をつる人があつたこのごろは蚊がしらで相當につれるらしい▲觀火會の夜の龍山の電車は實に近ごろ稀れなる大雜沓で南大門から龍山までの間を二時間餘りもかゝつたとブツ／＼こぼす連中もあつた▲しかし電車の方でも數萬のお客には到底あがきがとれずおまけに單線の元町線では車軸を折る不幸せ信屬とは京城始まつての事といふ▲また青白いアークの下の李王職の音樂隊は始終涼しさうな奏樂をつゞけてゐたが樂長も浮れ出して「ドレ一番河の中に帆をやりませう」▲それに對し砂ッ原の大篝火は何分二坎ばかりのもので火をつけるので氣の弱い人夫は逃げ出して了ひやつとのことで係員裸體の決死隊が飛び出したのは滑稽だつた▲また老人仲間には「これは／＼ありがたい雨乞ひですな」といふ人があつたがなるほど廿四日空が曇つて來た▲花店にはモウひなげしが出た、それにしのぶの球も涼しさう、天下はいよ／＼暑さ眞夏と變つて來た

愛讀者優待

本券御持參の方に對し一名限四十錢木戸を卅錢に割引致候

東京相撲 木戸割引券

京城日報社

群山興行中

●元山赤痢續發

元山にては五月上旬赤痢の初發患者を出してより其後續々新患者を出すに於て[illegible]既に避病院[illegible]員の爲め公立病院に收容しつゝ[illegible]るも之とて續[illegible]到底堪（得可）

●連絡船上陸客 六月廿三日

午前八[illegible]十五分釜山入港さくら丸一二等[illegible]廿二名[illegible]

井關三、岡ぜん、大宰傳雄、木村晋一、小川みれ、同かつゑ、岡さき、竹下さよ、石原常毅、岡良作、同はる、河村よし、藤本直治、根本彥二郎、[illegible]人ゴルト、パーゲ、黑田和平、鈴木千代吉、竹下[illegible]、池田かなみ、[illegible]、石川健三郎、水野ふく、宮川銀夫、牧野俊而、成富[illegible]

同夫人、二等[illegible]丸良夫、[illegible]郞、伊藤[illegible]、河瀬佐一、李靜淑、[illegible]九郎、吉助、吉村多七、同晋吉、莊野伊四、小川鑒三、同樹、菅井利右衛門、同宙太郎、同治香、黑田久吉、田中[illegible]、荒川市太郎

△課題（喧嘩と掛けて）（其時の事）

課題募集規定

六月廿三日 同廿四日 締切 同廿五日 同廿六日 發表

募集規程

同形の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲賞品は一週間後▲種類の異る毎に用紙を異にする事▲總て一個二句以內の事▲用紙は[illegible]

天氣 曇り小雨

▲六月廿五日（廿四日午後六時より廿五日午後六時迄）

[illegible]

演藝案內

京城壽町 壽座 電話七五八番

▲大阪大歌舞伎澤村源之亟一行 六月廿二日より廿八日迄日延なし 廿五日（四日目）藝題 前 隅田川名馬の譽 切 天下一品 義經千本櫻 大好評の[illegible] [illegible] 特等九十錢△一等七十錢△二等五十錢△三等二十錢

櫻井町 大正館 電話八七三

▽六月廿五日より特別封切寫眞提供 ○實寫「南[illegible]」△新派の名優尾上松之助 ○舊劇「浪花の俠客」全三卷 [illegible] ○滑稽活劇「デブ君の奮闘」（全二卷） △家庭悲劇「誘惑」 [illegible]

京城壽町 壽館 電話一〇三

[illegible] 竹本綱島太夫一行 [illegible]

京城 有樂館 電話[illegible]

世界的連續寫眞第五回「紫の覆面」[illegible]

電話二六三七 一六五二 黃金舘

魔術大博士松旭齋天一總員六十餘名 當る二十二日より七日間限り毎日午後六時開演 ▲世界的大魔術師松旭齋天一は愛に天覽の光榮に浴し第三回渡米研究最も鮮かなる妙技を演す ▲大魔術眼目奇妙の鐵箱を發見者には賞金百圓 ▲スコーオペラ座出勤露國第一女優一行 ▲入場料 特等一圓 一等七十錢 二等五十錢 三等三十錢 軍人學生小供半額 ▲四日の日曜日に限り晝夜二回開演

質 堀佐營業所 京城黃金町二丁目入（永樂町停留所北） 電話六三九番

品位 本 九重香油 大阪 東京 川崎製 賣捌到處油店化粧品店雜貨店ニアリ

淋病良藥 専賣特許 淋病醫藥 ローゼン溶彈ブーヂ 定價（六日分 六十錢 十二日分 壹圓）送料內地八錢 本藥は慢性淋病を完全に醫治し得る尿道坐藥にして之を尿道に挿入すれば體温により溶解し如何に頑固なる淋菌も極めて安全確實に絕滅するのみならず服藥を要せざる得り根治の目的を達することを得 登錄商標 內服ゴナール 定價（五十粒入 六十錢 百粒入 壹圓）送料拾錢 急性患者はゴナールを服用し疼痛の消滅したる時前記溶彈ブーヂを併用すれば安全に快治する事を得べし 本舖 東京市京橋區南傳馬町 大正製藥株式會社 振替東京三三三七三番 ●全國有名の藥店にあり （26）

仁川 京城 白神洋行 鐵 鋼 材 浪板、平板 針金、洋釘 新田帶革總代理店 ペイント、油類一切、コークス、セメント、耐火煉瓦、モルタル、スコップ、シャブル 帶革、ロープ 機械、工具 附屬品 其他

胃病良藥 胃活

定價（胃活錠）二圓、壹圓、五十錢、廿五錢 （胃活）一圓、六十錢、四十錢、廿五錢 請賣全國海外販賣所の各藥店にあり 本舖 東京・大阪 山田安民藥房

夏の胃 夏は誰も胃が弱り、水アタリ、暑氣アタリ食傷等の吐瀉病に罹り、其他の餘病を引起す恐あり胃弱者は勿論、無病者も常に胃活を家庭に備へて、日々の持藥とし玉ふ事肝要なり

酒煙草きらいになる藥 どんな酒煙草のみでも害なく心から嫌いになる郵券二錢送れば說明書を ―禁酒丸―禁煙液― 大澤博士其他名士の禁酒禁煙論進呈 本舖 大阪西區 森田商會

時計貴金屬指輪眼鏡商

地方の御注文は代金引換にて送る 京城本町二丁目 京城眼鏡行商 三浦天龍堂 電話一〇〇二番 振替京城三〇四番

小兒良藥 主治効能 驚風 氣絕 五疳 解熱 痙瘡 痲疹 大阪天滿橋 樋屋奇應丸 樋屋合資會社 全國到る處の藥店にあり

釜山商店案內

內外雜貨卸問屋 釜山本町二丁目 近江屋支店 電話八〇二番 振替京城一三七番

內外雜貨問屋 月刊商報ナ送呈 明治屋本店

食料 罐詰 洋酒 糖粉 煙草 卸問屋 釜山辨天町 あづまや商店 電話長三五八番 振替京城三九番

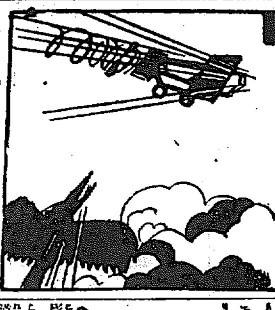
內外雜貨 鍋釜金物 サクラビール 石油 卸 近藤商店 釜山本町三丁目 電話長七六八番

……生を見居れるが二十一日迄に罹病三十三名に達し內死者二名を出し其筋に於ても頻りに豫防に勵め居れり、……きに非されば府當局……協議會を開催し避病院……假病舍增設の議を協議せり(元山)

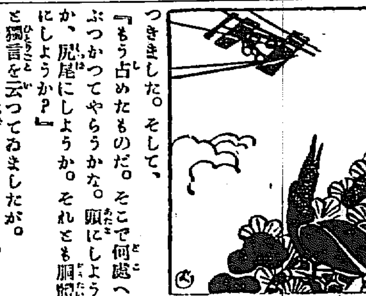
……同……岡……、同とく子、東鬼登子、佐野龍助、田野豐……、……二等(四十名)森山靜子、松岡千代子、大島虎太、小……、林市郎、……、同みつ、岡辰夫、……岡田……、宮田周太郎、岡本亮作、同つきゑ、大……　三等(百七十名)

六月廿三日午後九時五十分釜山入港　高麗丸　一二等客　一等(三名)　村田參時、露國人エス、ズモロフ

鳥と飛行機



ある村はづれの野原の中の松の木に、一羽の鳥がとまつてをりました
『今日はお天氣が好いから方々飛びまはつて來ませうかな』
と云つて飛び出さうとしてゐるところへ、向うの方から、一臺の飛行機が飛んで來ました。
『や、飛行機が來た。これは面白い』
鳥は松の木の枝から、飛行機を眺めてゐるうちに、飛行機はだん／＼近づいてまゐりました。
『速い／＼。速いものだ。大概の鳥よりも速く飛べるんだからわらいもんだ。でもまだ飛行機もこれからだ落つこちなくならなくちや駄目だよ。どんな強い風が吹いても、自由自在に飛べるやうにならなくちや駄目だよ』
とかう云つて、頭の上へ飛んで來た飛行機を下から見上げて、
『此奴も今に落つこちるぞ。きつと落つこちるぞ。落つこちると面白いな！』
と云つて飛行機から目も離さず
『早く落つこちろ。どうせ落つこちるのなら早く落つこちて見せろ！おや、まだ落つこちない。まだ落つこちないのかな？もう落つこちさうなものだがな？どうしたのだらう？おや／＼、中々落つこちさうにもないぞ。落つこちないで飛んで行く積りかな？』
鳥は飛行機の落つこちるのを、今か／＼と待つてゐましたが、乘手が餘程上手であると見えて、中々落つこちさうにもありません。
鳥はがつかりしながら
『此頃の飛行機は、大概落つこちるときに極つてゐるのに、此奴だけはさつぱり落つこちさうにもない。ほんとに、落つこちると面白いんだがなー落つこちて呉れないかな？いけないな、落つこちなくちや張合ひがないな！』
いくらかう云つて鳥が落つこちるのを待つてゐても、飛行機は落つこちる樣子もなく、づん／＼飛んで行くので鳥はすつかり當がはづれて、
『どう／＼落つこちさうにもない。折角落つこちるのを樂みに待つてゐるのに、落つこちないとは不都合な飛行機だ。俺がぶつかつて落つことしてやらうかな？宜し、面白い。ぶつかつて落つことしてやれ！やつとこさで飛んでゐるんだもの、ちよいと行つてぶつかりや、直きに落つこちてしまふに違ひない。面白い／＼さ、これから飛行機征伐だ。』
と鳥は、勢よく羽ばたきをして、ツイと松の木から飛び離れ、大急ぎで飛行機の後を追ひかけました。
飛行機は、いたづら鳥が後から追ひかけて來るとも知らず、プロペラの音高く、サッサと飛んで行きました
『や、速い／＼急がなくちや、追ひつかないぞ。驅足！驅足！』
と鳥はやつとのことで飛行機に追ひつきました。そして、



『もう占めたものだ。そこで何處へぶつかつてやらうかな。頭にしようか、尻尾にしようか。それとも胴體にしようか？』
と獨言を云つてゐましたが。
『宜しッ！尻尾にぶつかつて落つことしてやらう。飛行機君、そらぶつかるぞ！』
と鳥はパッと飛行機の後へ飛びついて、物の見事に飛行機を落つことす積りでしたが、飛びついた拍子にプロペラで片羽をもぎ取られ、あべこべに眞逆樣に落つこちて死んでしまひましたとさ。(をはり)

辮子將軍を訪ふ
堅い掌＝如才無い應接振り＝支那の新聞記事は嘘が多い＝眉に八の字

辮子將軍張勳を南河沿の自宅に訪つた、門前には武裝自動車が一臺と馬車が五臺置いてある、武裝した兵隊が眼を光らする、こつちも睨み返してやる

◆受付には名刺が山の如く積である第一應接間には張勳延と云ふ男が居て應接をする日本語の上手い謝介石と云ふのが出て來た外賓の應接間に通される、才物を以て聞ゆる參謀長の萬繩式が居る、支那式の瀟洒たる部屋正面には袁世凱の油繪が懸けてある其下に將軍の寫眞、右側に大きな振貝子の寫眞がある、

◆水色の支那服に　見て涼しさうな奇麗に剃た辮子姿の將軍が自らやつて來た握手した掌が馬鹿に堅かつた久仰大名と云つたら彼此々々と云つて手を束ねて前清の禮をした御年はと聞けば六十二と云つた、身の丈五尺一寸ばかりの色の白い顏の筋肉の緊まつた美丈夫、如才無い應對ぶりは仲々油斷が出來ぬ一日に八十人から百七十人の來客があるさうで大變忙がしいと云つた、宣統皇帝はどうかと云へば好と云つた、貴國の田中參謀次長は

◆痛快な人だと云ふ　船津書記官は先日來たが曾はなかつたと云ふ(南京事件の恨か)話は政治問題に入る、予が今回來京の目的は紛糾したる時局の調停に在るのでこの後責任內閣を組織すればそれでよい、李經羲は今日來る筈で二三日中には內閣が成立する筈である外では余が李經羲を擁し立てようとする樣に噂して居るようだが實は李君が自分に隨つて來たのである。北京には自分の兵が二千居る、徐州には三萬居る、內閣組織さへ濟めば自分は

◆すぐ歸徐する考へである、支那の新聞に書いてある事は嘘が多い、只外國の新聞に誤解されるが一番困ると眉に八の字をして見せた、歸りには澤山の武官が玄關迄送つて來た、這入る時に眼を光らした兵隊が歸る時には恭しく敬禮した(北京十一日發)

◉大田の火事　大田外南面鉢若里瓦製造業安井鈴次郎の瓦製造小屋より二十一日午後八時頃より出火し大事に至らんとするを逸早く大田消防組第一部二十餘名驅せ付け消防に盡力したる爲め大事に至らずして同九時半鎭火したり損害は瓦納屋約十八坪約五十圓にして人畜に死傷なく原因は過失なるべしと

連日連夜大好評裡に迎へられたる
大正館の文明(シビリゼーション)
千載遺憾今晩限り

◉師匠會千秋樂　壽館の竹本綱島太夫歡迎師匠淨瑠璃會は五日目(二十四日)にて千秋樂の由當夜の語り物次の如し
▲御祝儀入會太夫▲おかる身賣南太夫▲掛合忠臣藏七段目由良之助(綱島太夫)平右衛門(若竹太夫)おかる(南太夫)九太夫(奈良(初)番內(龍糸)力彌(小庄)一人侍(和太夫、南次太夫、小庄)

◉春風會素謡會　……二十四日正午より……に於て……俳すべくその番組は加茂、……八島、……俊寛、……鞍馬天狗、鵜飼、……安達原なり

▲琵琶湖畔の夜▼
石山寺―供御の瀬―勢田の長橋―土產の螢

◆琵琶湖畔の初夏の快い風、その幻影にひかれてけふの午後大阪梅田から東行の汽車に投じた。逢阪山の隧道を出ると窓から琵琶湖の水色は油繪の如く光つてゐる、石山驛に下車する、義仲敗戰の跡粟津ヶ原は亭々たる松並木によつて示されてゐる。京津電車と湖南汽船が競爭的に客を引く、電車は早いといひ、船は石山の傍まで着くといひ、勸誘大に勉めるので電車に乘ると瀬田を過ぎて間もなく終點となる、後は徒歩で石山迄瀬田川河畔を行く。

◆柳屋、三日月樓、松月樓、悉く滿員の盛況、兎に角柳屋に入つて懇ひ一浴の後石山寺に詣でた。寺內には古來災火少なく比較的多くの古建築古文獻を殘してゐる、門內兩側には若楓が繁りを滴らせ殘んの躑躅が寂しく吹き洒かれてゐる、十數階の石段をのぼると突兀たる怪岩奇石で、所謂石山の石山たるものである。鐘樓の鐘は賴朝の寄附說寶より上つたといふ。毘沙門堂、源氏の間は紫式部が源氏物語を起草したところ、親子の巡禮が暗い堂の中にぢつと休んでゐるのを見ると何だか哀想を感じる。

◆觀月臺の方へ登つて見た　明治天皇駐蹕あらせ給ふた所で湖南瀬田川一帶の山水が一幅の鳥瞰圖となつて眼前に展開される、虹の如き勢田の長橋、吸込む如くに南下する湖水、悠々たる流れ、茶褐色の中に紫の斑點を點じて突兀と連る東甲賀の山々、儼然たる風景である。

◆柳屋に歸つて食膳につく、流水に短艇を浮べ流すもある、魚を釣る者もある、汽船は絕えず來往してゐる、旅客は妓を擁へて騷いでゐる、夜はいよ／＼立て込んで來る、到底靜かな湖畔の遊びをすることは出來ない豫定を變更して汽船に乘り南郷に行つた。

◆供御の瀬と云つて著名な地點、瀬田川の流水を堰止め琵琶湖の水量を加減按配してゐる、多くの閘門より逆り落つる水勢はさながら小さなナイヤガラーを見る如く壯觀を極めてゐる。宇治川水量の水もこゝから引いて京阪地方の工業界に貢獻してゐる二十餘丁南の山に有名な立木の觀音がある下流には鹿飛び米かしなどの奇觀がある。

◆再び石山下を過ぎて汽船は北上する、夜の乘客を優遇する唯一の設備は甲板に毛布を敷くのと紅提灯を吊すことである、それがお祭り喋くて如何にも田舍々々して面白い。石山の螢狩も提灯と電燈で飾られて美しいが、其の代り名物の螢は飛んでゐない、石山の螢狩は名のみとなつた汽車の轟きと電燈の明るさに螢は尻尾を縮めて飛んでゐるのかも知れぬ

◆汽船は夢の中の歡樂の巷を見るやうな水郷の紅燈を後に見て勢田の長橋を潜る。月なき湖上は眠れる如く只暗い、淡水長者の勝所に着いて陸上屋に投じた。

◆雄大なる湖上を汽船が時々往來する、やかましい觀光な若い木に落して過ぎゆくのが如何にも湖畔の感を深からしめ、渚を洗ふ小波の音、蕭秋のそよぎが初夏の夜の寂しい味を誘ふと群をくと胸に迫つて來る、土產の螢は金網の中に美しう光つてゐる。

◆多忙の間に日を盜る我等は憶ういつた境に入つて始めて人生の何物かを考へ得る、搦り黑い湖上を眺めて考へてゐると夜は次第に更けて行く(六月十六日夜膳所にて背賣生)

◉地久節と家族會　愛國婦人會地久節奉祝家族會は愈々二十五日午後一時半より黃金館に於て開催する事となりたるも當日は婦人の會合に就き男子は成る可く遠慮ありたしと

明君道中記
第百八十六席　田邊南龍口演

長七郎は若い者を止めて彼の出家を伴ひ元の座敷に參りまして　長『イヤ出家、僧と云ふ者は柔和を元とする者であるが何んで斯樣な亂暴を働らくか　出『コレは御武家には御仲裁を下され有難く、愚僧は九州大友家の浪人で本名宮田吉右衞門と云ふ者でござる、仔細あつて出家をいたし當時學傳と申しますが、此の濱松宿を通り掛り松河典膳の道場を見受け他流試合を申し込みし處　甚だ不禮に扱ひ致しまく／＼しい事に思ひ典膳を打仆し門弟を追拂ひ、道場の武者窓より飛出だし表の看板を引外して逃出しました　長『如何に不禮があればとてそれは餘り亂暴　學『イヤ甚だ恐れ入つた次第でございます　長『何んにいたせ此の方が扱つて遣はすから　學『宜しく願ひます』長七郎は松河典膳を呼んで馳走をいたし道場を破損した修繕金を遣はし看板を上げて遣りましたから松河も大いに喜び禮を述べて道場へ引き取りました、長七郎は此の學傳が上方へ歸ると云ふ事を聞いて　長『何んと學傳其方が上方筋に參るなれば予も上方に參る故同道いたせ』と仰せを承つて學傳は大きに喜び　學『左樣なれば上方筋までお供をいたしませう』と其夜は當所へ泊りまして翌日濱松を出立いたしまして、上方を指して登りました、泊りを重ねて宮の宿に參り是に宿を泊りました處翌日は雨天で無據逗留をいたして宅兵衞宇平次三次等を相手にして酒を酌み交して居りますと、此の中に大分相撲取りが宿を取つて居るか大勢出入りをして居りまする、長七郎は宿の亭主を呼んで　長『コリヤ亭主其方の家に大分相撲取が見ゐるが何か何所ぞに興行にても致し居るか　亭『左樣にございます、當所熱田神社の境內に相撲がございますので、私共へ關取衆が宿を取つて居ります　長『左樣か、それはまだあるか　亭『雨天に付て休みました故明日にも天氣になりますれば相撲を取ります　長『此の方も相撲は好きである、その相撲を見物をしたいものだ　亭『明日は此の按配ではお天氣でございませう、天氣なれば興行をいたしますから御案內をいたしませう　長『それでは明日天氣になりましたら案內をいたしくれ　亭『畏りました』其夜はお寢みになり夜が明けると昨日に變る晴天、亭主は長七郎の座敷に參り　亭『ヘエー旦那樣、今日は快いお天氣でございまして、相撲場も大分客がつめかけたさうでございますから宜しければ是から御案內をいたしませう　長『イヤ亭主、其方も一緒に參つて見物をいたせ　亭『有難うございます私も大の相撲好きでございます故興行中は每日參ります　長『左樣か、然らば案內を賴む』支度を調へまして長七郎は宇平次宅兵衞三次學傳を供ひ熱田神社の境內にお出なされ、先熱田神社へ參詣をいたしそれより相撲場に來て見ると小屋は一杯、入りでございまするワツ／＼と云ふ騷ぎの幟を立て櫓を積み大した景氣、宿屋の亭主は先に立つて木戶口へ參り　亭『イヤ皆さんお客をお連れ申した故棧敷へ案內を願ひます　○『イヤ是は勝田屋の旦那で每日有難うございます、サア棧敷へ御案內をいたしませう』東の棧敷へ案內をいたした長七郎を始め一同はそれにて見物をする、一體此の相撲は田舍相撲でございますから手が足りませんで故飛入り勝手次第と云ふので誰でも取らうと思ふ者は取れます、處が素人の中でも却々強い者が居ります此の相撲場で端なくも一つの間違が起りました

六月二十六日　舊五月八日巳亥　本命一白　乖　取　赤口
▲一白　好事反て悔み傷んとす新事見合西方は吉略を北▲二黑　向ふ見ずの事有る日新事手控へ苦事は吉福到來して宜らるべし▲三碧　日出度日轉居開業入學名弘求職旅行……▲四綠　好事織出の日轉居開業入門名弘め求職……▲五黃　……女難散財用心の……

朝鮮　牛乳　御用　京城東四軒町　岡野牧場　電話一〇六九番

外科　泌尿器科　一般　皮膚科　花柳病科　院長　安部修三　安部醫院　京城永樂町三丁目金光教會隣　電話四一九番

下痢腹痛には　ヘルプ

わきが　にて今迄彼是と他の藥を用ひ効なき方は　アーザーを御用ひあれ藥價六十錢一圓　京城黃金町三丁目　電話二九四九　山田文牙堂藥房

流經新藥レスノリン　月經　閉止四五ヶ月以內に於ける本品の流經作用は確實にして容易く應用の目的を達し其効果他藥に優越す藥價一瓶送料內地十二錢海外卅錢切手一割增說明書三錢切手添申越進呈　振替大阪二〇三〇番　大阪北區曾根崎上一丁目三六地　發行所　常盤藥院

▼朝鮮ノ行政區劃一覽出ヅ▲
司法大臣松室致閣下題字　國護士加古貞太郎先生序文　法政大學校友　湖西越智唯七編纂
新舊對照　朝鮮全道府郡面里洞名稱一覽
大正六年四月十日現在總クロース金文字入菊版千百五十頁定價金參圓
發日總督府及各道廳ニ於テ一大廢合セラレタル府郡面里洞、ト舊廳決了シタル土地調査局ノ調査ト相俟テ朝鮮全道ノ行政區劃ハ確定セリ然レトモ未タ一目瞭然タルノ書籍ナク執務上參考上不便此上ナキ折柄本書ヲ編纂セリ本書ニハ道、府、郡、島廳及面事務所ノ所在地ヲ示シ末尾ニ朝鮮ノ沿革、日鮮清西暦對照年號ヲ示シ管區數、人口、戶數、道路里數、各道ノ盛衰、交通、產物、名所舊跡、溫泉其他ノ概況ヲ揭ケ、各官廳ヲ初メ政治家、實業家、學者、交通、產業其他苟モ朝鮮ニ關係ヲ有スル士ノ須臾モ缺クヘカラサルノ必携書ナルコト敢テ多言ヲ要セサルヘシ此際實價ニ等シキ價格ヲ以テ發行セリ部數ニ限リアリ諸賢速ニ購求セシレンコトヲ請フ
發行所　中央市場　京城府公平洞五番地　電話一四五〇番

優等清酒

釀造元　福岡縣三井郡山川村　富安本店　發賣元　京城永樂町二丁目　富安京城支店　電話四〇三九番　振替口座四三三九番

外科　一般花柳病科　內科　一般皮膚病科　普通及隔離病室完備　診察夜九時迄　京城旭町一丁目(本通り左に入る)　島崎病院　電話二七三六番

車印　機械油　輕重油　製造販賣　浪速グリース　日本西部朝鮮支那一手販賣　信濃電氣會社光線印カーバイト一手販賣　岸商店　本店　門司市錦町　電話五一五番　出張所　支那青島野山通　電話七四番　製油所　新潟市關屋大川前　電話三三三　光線カーバイト南鮮一手特約店　福榮商會　釜山幸町　電話三三九番

內科　小兒科　京城永樂町一丁目(品商陳列館前)　村上病院　電話六一三番　院長　醫學士　村上龍藏　副院長　熊本醫學士　松下三雄

資本金五百萬圓　頭取　安田善三郎
株式會社　百三十銀行京城支店　京城本町壹丁目　電話長五八番　振替貯金京城一一九〇番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候　爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地有之候

桃谷研究試驗所創製

美顔白粉

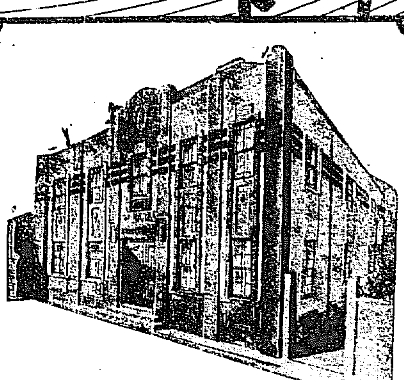
一ケ年製産高百萬圓を超ゆ

尊貴の御料に召さるゝ

優秀完全なる白粉!!

美顔白粉は學者の創製したる、學術的に完全な最も新しい白粉であります。學者の眞面目な研究で出來た白粉ですもの、衛生上から言つても實際上から言つても完全無缺な事は申すまでもないことで、この白粉の、從來の白粉よりも飛抜けて良いといふ事が次第に世に知れ渡り、大變な人氣を引起しましたにつけ、此事何時か高貴の方々の御聞に達し、各宮家御用美容術大家マリー、ルウ井ズ孃の嚴密なる試驗の上最優良品と認められ一昨年の三月始めて御用命を賜つて以來、引續き御用を辱ういたして居ります。

波紋



名譽ある美顔白粉を創製したる
桃谷研究試驗所

所長 藥學士 桃谷幹次郎
技師 理學士 西澤勇志智
仝 醫學士 米倉昌達
仝 千葉藥學士 小磯勝次郎
仝 仝藥學士 齋藤鋭助
顧問 藥學博士 丹波敬三氏
醫學博士 山本淳二氏

京城日報
第三版
六月廿五日
（夕刊と合せて八頁）
定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金五十五錢　[illegible]
廣告料　五號活字十六字詰一行金[illegible]
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　京城日報社　電話[illegible]

……本邦人の[illegible]商[illegible]外商[illegible]レンブ[illegible]本人に業務を讓渡することに[illegible]なれり[illegible]の次第を聞くに同商會は米國紐育[illegible]ロードウエーに宏壯なる[illegible]を輸出するなど手廣く業務に從事し其取扱に係る輸出入總額は莫大なる[illegible]をなすもの增加せるを以て到底外人[illegible]經營にては徒らに費用嵩むのみにて少額の經營費を以て事足る日本人に[illegible]イチ[illegible]多叉藏氏[illegible]商會副社長チー[illegible]氏と日本棉花會社長喜[illegible]神戸の瀧川儀作氏其他は發起者にて分擔し七月一日より業務を開始すと輸出業の漸次好調に赴くと共に新に資本を增加して輸入部[illegible]米諸國に於ける新設會社の[illegible]だる可しと（大阪支局）

◎元山郵貯趨勢　近來內鮮人共貯蓄思想の向上に伴ひ當地[illegible]一人平均二十三圓二十四錢強にして朝鮮人は千八百四人此金額五千四百三圓一人平均二圓九十錢なるが試[illegible]

私立專門學校設置に就て

過般朝鮮ホテルに於ける私立延禧專門學校私立セブランス聯合醫學專門學校の財團法人及び學校設立認可の披露會席上關屋學務局長の陳述要領左の如し

△當局の欣幸　私立延禧專門學校並に私立セブランス聯合醫學專門學校の設置に就き學事當局者として滿腔の祝意を表す其の理由二あり　一、內容の改善　從來專門學校の名稱はなかりしも類似の學校ありて學校關係外國人に於ては之をカレッヂと言ひ新しきものも之を譯せばカレッヂにて何等異なるなきが如きも新學校は教育令の所謂專門學校にして學科課程、入學資格等從來の學校とは大に異なれり、從來或は相當高等の學科を教へたるならんも單に學問ある人物を造ると云ふに在りしが如し、今や然らず一面高等の學術技藝を教ふると共に忠良なる國家有用の人材を造らむとすること之なり此の二事に於て

△組織の變更　は重大なる事件と認むるなり政府は昨年專門學校規則を發布したりと雖も今日にては專門學校の數甚だ少し之れ朝鮮今日の時勢及び民度より來れる自然の結果にして政府が故らに制限を設けたるにあらず現に政府は來年度に農業の專門學校を設立する計畫なり、思ふに今後必要に應じ漸を逐うて設置を見るに至らん、兎に角舊韓國時代主權の存在明確ならず社會百般の事物不便多かりし時に於てアヴィソン氏等の努力せられしことは實に感ずるに堪へたり、加ふるに今後新設の二專門學校が政府の施設を補ふに於て大なる裨益を朝鮮に與ふるを信ずるなり、唯徒らに其の名を美にすることなく其の建築の高大を誇ることなく優良なる教員を充實し常に朝鮮の時勢民度に適合せむことを期し高等なる學術技藝を有し優秀なる品性を存する社會の上級に立つべき有用の材を育成せむことを希望す、單に高等の學術技藝を修めたるのみにて其の品格之に伴はず

△國家に忠良　なる精神を有せずんば決して專門學校設立の目的に副ふものにあらず、此の點に就てはアヴィソン氏の意見も余の意見と全然同一なるやに思はる、尚學校關係者諸君は深く此に留意せられむことを望む、本校設立に際し校長及び理事長たるアヴィソン氏の勞勵る大なりしは吾人の推獎に吝ならざる所、財團の規則及び學校の規則等は外國人諸君に解し難かるべきを以て其の設立許可までには少なからざる勞苦ありしなるべく吾人の深く察する所なり尚アヴィソン氏の言によれば政府と學校關係者との間に誤解ありし爲め認可延引せしが如く言はれたるも余の知る範圍にては本件に關しては何等誤解なかりしと信ず若し誤解ありしとすれば

△教育と宗教　との關係に就てならんも教育宗教分離問題に關しては既に度々說明を試みたる所なれば今又茲に贅するの要なかるべし、而して此の祝辭を了るに當り想起を禁ずる能はざるは故アンダウット博士なり今日の如き祝賀の席に於て故人となれる博士の逝去を痛悼するは其の所を得ざるがなきも本校殊に延禧專門學校と博士とは離るべからざる關係あることは諸君の知る所なれば諸君と共に故博士の勞を感謝せずんばあらず吾人は二校が健全の發達を遂げ財團設立當初の目的と吾人の所期とに協はむことを關係者の爲め將た朝鮮の爲めに望むこと切なり

朝鮮の教科書（五）

編輯課長　小田省吾

一　普通學校教科用圖書（其四）

第一修身書（全八冊）　本書の組織は生徒用教師用各四冊とし、本書の教材は普通學校規則第八條に依り、教育に關する勅語の旨趣に基づき道德上の思想及び情操を養成し、將來の良風美俗を失はざらむことに注意し、實踐躬行を勸獎するに必要なるものを選び、又戊申詔書の御旨趣中、朝鮮人教育に必要なる諸點は總て之を包含せしめ、各學年に於て皇室及び國家に對する心得、家庭に於ける心得、個人としての心得、他人に對する心得、社會に對する心得を反復循環して提示せり。就中特に注意せし諸點を列擧すれば凡そ左の如し。

一、國民道德の中樞たる忠孝の觀念の養成には特に重きを措き、各卷に之に關する教材を含ましめ、卷一第十課に於て『テンノウヘイカ』同第十一課に於て『親の恩』を加へ出來得る限り早く君父の恩を知らしむるに力めたり。

二、天皇陛下、皇后陛下、明治天皇、昭憲皇太后の御盛德は生徒學力の進步に應じ每卷之を奉揭し、時に御製御歌をも加へ、以て皇室御恩澤の洪大なることを知らしめ、殊に明治天皇の朝鮮人民に垂れ賜ひたる恩惠、就中公立普通學校は何れも皆同天皇御下賜金の利子を基礎として設立せられたるものなれば、生徒等は日々其の恩澤を蒙るものなることを深く生徒の腦裏に印象せしめむことを期し、今上天皇陛下に關しては、皇太子の御時曾て朝鮮に行啓し給ひて親しく此の地の民情風俗を叡覽せられ、[illegible]普通學校等に御下賜金ありたること、又兩度の御大喪に際し、一視同仁の御思召を以て朝鮮にも御下賜金あり、又其の前後此の地の風水害等に際し御救恤金を下し給ひし等の事實を特記し、極めて具體的に御恩澤の厚きを知らしむると共に其の年月金額等は教師用に詳記して教授の的確を期せり。

三、教育に關する勅語は朝鮮教育令第二條に示されたる如く朝鮮に於ける教育全體の基本たるは勿論なれども、其の意義深遠なる上、普通學校の生徒に對して其の措辭亦甚だ高尚なるを以て、一々語句の解釋をなさず、努めて其の御旨趣を實行せしむるを旨とす。然れども普通學校最終學年に使用すべき本書卷四の卷頭には該勅語の全文を奉揭し同卷末に於て修身教授は全體の歸結として其の大意を奉釋し、以て其の大本を會得せしむることを期せり（該勅語の稍高尚なる解釋は之を高等普通學校修身書に讓れり）

四、孝道に付ても忠君と同樣每卷之を揭げざるなく、其の例話も內地人の外、呂東賢の妻、鄭民赫等朝鮮人事蹟を選擇して印象を深からしめたり。

五、國體に關しては卷三、卷四に於て萬世一系の天皇を奉戴し寶祚の隆盛なること天壤と共に窮りなき所以を明にせり

六、現時の朝鮮人に對し最も必要と思はるゝ德目、例へば正直、勤勉、儉約、貯蓄、清潔、衛生等は特に意を用ひて適當に各卷に配當し、又朝鮮人古來の美風にして保存獎勵を要すべきもの、例へば尚老、敬師、[illegible]等、及び陋風にして速に改良すべき迷信、[illegible]等は何れも[illegible]めて[illegible]加へたり

地久節

□御歌□

松風も神の心になびきつゝ枝をならさぬ御代まもるらん

支那商工業の變遷（六）

今關天彭

一六、元代の工業　元の建築は、內殿が他の諸殿に比較して非常に綺麗に出來て居た、即ち琉璃で瓦を作り、硃砂で壁をぬり、題頭は[illegible]を刻みて螭の形になし、そしてその口に珠を銜ませ、階や檻は白玉で作つたのを見ても、その綺麗なることが察せられる。

この時代の製造業については、木綿から製した布が第一である。木綿の外國から傳來したのは、無論元以前であつたが、その東南境に盛んになつたのは、元から始まつた。それから種々の織物が出來、今日でも商業上に於て大切な物となつてゐる。この外の製造業では軍器である、即ち[illegible]は[illegible]鎧をつくり、その[illegible]は[illegible]盾をつくつた。その盾は合せる事が出來、また開る事が出來るのである。而して大礮はこの時代に始めて西域から傳來された。世祖の時西域の人阿喇卜丹、伊斯馬音を召して大礮を造らせたのが即ちそれだ、古書に見えたる礮とは、機關を用ゐて石を飛ばすのであるが、元以後は火藥を銅若くは鐵で作つた器中に入れ、石をその口に塞ぎ、かたはらに一線を通じ、火をつけて石を飛ばすやうになつた。

此時代の美術工業には塑像がある。これは佛像を彫塑したもので、名手には劉元があり、元の兩都（大都上都）の名寺の佛像は、多くはその手になつたのである。

講談雜誌　七月號

安兵衛の印籠場（義士銘々傳—長講三十頁）……桃川如燕
德川家齊　放牛舍桃林
落語　刀屋　談洲樓燕枝
向疵の幸吉（長講三十餘頁）……小金井蘆洲
天明白浪傳　德次と新助　錦城齋典山
殿樣勝治　桃川若燕
別墅の朝（大判日記）　武川比佐雄
落語　昇き、源兵衛　柳家小三治
吉野太夫　傾城入山門
講談　鳴海四郎三郎（長講二十餘頁）……一立齋文車
天の網島　大塚美島
雜錄　新講談　俳句
金兵衛と富士松（奥州屋白浪長講二十頁）……悟道軒圓玉
定價金十三錢　郵税一錢五厘
博文館

七月號出來
新少年
壹冊定價拾貳錢送料一錢
發行所　平和出版社　東京神田錦町三　振替東京八七七八

"PIN,, E"
是れ！是れ最高能率を有し眞に理想的なパイン萬年筆を直ぐ御買ひなさい!!
大日本政府登錄
附言　パイン萬年ペンは自然の破損又不具合の節は滿一ヶ年間交換又無料修繕
米國製正十四金イリジューム付ペン（責任保險付）
完全なる設備と老練なる技術者に依る
各種萬年筆即時修繕
堅牢無比
京城旭町二の六　東京パイン萬年筆出張所
定價 [illegible]
發賣元　京城大平通一丁目　京城日報代理部　振替京城三〇〇番
陳列所　京城本町二丁目　ウツボヤ書店

新古書籍雜誌賣買交換[illegible]　京城新古書籍交換所

精米機用
礦山用
打拔金錮板
品質優秀値段は特に安價に御相談可申詳細は御照會に依り御回答可申上候
專門製作
大阪市西區立賣堀北通三
谷田鐵工所
電話新町一三八二番
振替大阪六七〇番

眼鏡製作
今般眼鏡製作所開設仕り候に付ては從前よりも尚一層急速及價格低廉を以て御用命に應じ申す可候間御引立の程願上候
米國製金張玉付
[illegible]
眼鏡各種
[illegible]
各地方より御注文の節は代金引替にて京城本町一丁目（郵便局前）
中村メガネヤ
電話千百十七番　振替京城三四六番

工事請負公告
一、漢江通リ暗渠改築工事
入札日時本月二十九日午前拾時
詳細ハ京城府會計係ニ就キ照會スヘシ

移轉擴張
鑛物各種分析　附電解裝置
△設備完成
△正確迅速
時運の要求に迫られ移轉擴張
京城太平通二丁目六十三番地　稻荷神社向側小路（朝陽分析所事）
松永分拆所
電話二八三番

寫眞
京城日報社寫眞製版部
寫眞出張撮影　寫眞銅版亞鉛版
最も熟練せる技術を以て最も廉價に而も迅速丁寧[illegible]

第拾六回決算報告

自大正五年四月一日至大正六年三月三十一日

貸借對照表

資本金貳億圓　內[illegible]

資產	
拂込未濟株金	[illegible]
社債差額	[illegible]
政府出資財產	壹〇〇、〇〇〇、〇〇〇
興業費	[illegible]
鑛產物	[illegible]
貯藏品	[illegible]
有價證券	[illegible]
預ケ金	[illegible]
他店貸	[illegible]
貸金	[illegible]
未收金	[illegible]
假拂金	[illegible]
工事勘定	[illegible]
工場勘定	[illegible]
切手印紙	[illegible]
金銀在高	[illegible]
合計	[illegible]

負債	
株金	壹六〇、〇〇〇、〇〇〇
法定積立金	[illegible]
特別積立金	[illegible]
社債	[illegible]
保證金	[illegible]
社員身元保證金	[illegible]
社員共濟基金	[illegible]
未拂金	[illegible]
假受金	[illegible]
前年度繰越金	[illegible]
本年度利益金	[illegible]
合計	[illegible]

利益金計算書

一金千拾萬七千六百七拾七圓參拾七錢　本年度利益金
一金[illegible]　前年度繰越金
計金[illegible]

內

金五拾萬五千參百八拾圓參拾九錢　法定積立金
金貳百五拾萬圓　[illegible]
金百八拾萬圓　政府以外[illegible]
金六拾萬圓　同上
金貳百五拾萬圓
金參百七拾五萬圓　特別積立金
金四拾萬圓　役員賞與並交際費
錢五厘　後年度繰越金
右之通候也

大正六年五月
南滿洲鐵道株式會社
總裁　男爵　中村雄次郎
副總裁　工學博士　國澤新兵衛
理事　川上俊彦
理事　佃一豫
理事　藤田虎力
理事　改野耕三
理事　樺山資英
理事　龍居頼三
右調査ヲ遂ケ其正確ナルコトヲ證明候也
大正六年六月
監事　河上謹一
監事　馬越恭平
監事　大橋新太郎
監事　小山健三

◎東拓改正法案詳報

補給金の全廢＝政府配當金中止＝營業種類及び區域の擴張＝滿蒙金融開拓

東洋拓殖株式會社法改正案は二十二日議會に提出せられたるが此の內容を見るに第三十二議會以來問題たりし補給金は全然廢止せられ其の代り政府の持株六萬株に對する配當に對し大正六年以降八年間一般配當率の八分に達する迄は配當を要せざるに至りたるが之れを前期成績に徵する時は政府持株三百萬圓に對する年六分五厘の配當即ち約十九萬五千圓を納入し居たる筈なれば實際に於て今後約同額の補給金を給與せらるゝと同じ理由にて即ち從來の三十萬圓の補給金に比し約十萬圓の削除を見たる勘定なり其の他要は地方官會議に於ける勝田藏相の訓示中にありたる朝鮮以外の移民金融を體現するに至りたるが第十三條第六項に於て移民取扱業其他拓殖事業を營む事を目的とする會社の株券又は債券の應募引受及び第七項に於て移民取扱業其他拓殖事業を營む事を目的とする會社の株券又は債券を擔保とする五年以內の定期償還方法に依る貸付の條項を加へたるは主として南洋、南米に於ける移民獎勵の一助たらしめんとの目的に出たるものなり次に營業區域の擴張に就ては內地、臺灣、樺太を除く其他の諸地にありては政府の認可を得て自由に營業を爲す事を得るに至りたるが遣は言ふ迄もなく滿洲蒙古に於ける拓殖金融を目的とするものにして前內閣の計畫せし滿蒙銀行に代るべきものと謂ふべし其の他副總裁の廢止を實現し本店を東京に置く等重なる改正點と謂ふべし(東京特電)

支那の形勢

▲南方獨立說

廣東、廣西、雲南、貴州の四省は總統府に對し最後通牒を送りたるが二十三日既に獨立せりと傳へらる(北京特電)

▲海軍南方に加擔す

上海附近に碇泊中の軍艦數隻は二十三日終に南方派に加擔するに決し吳淞にありし六隻は福建督軍討伐に參加せん爲め南方に向つて出動せり第二艦隊は北京よりの命令に反して獨立を宣し海軍總長程壁光提督は南方軍令部を帥ゆべしと言ふ(上海特電)

▲反對派成行觀望か

李經羲內閣問題に對し李經羲氏の內閣には天津派及び段祺瑞氏の一派は反對なるも今表面より妨害するを得ざる理由あり兎に角李內閣を成立せしめたる上其の成行を觀望せんとするものゝ如し斯くて李內閣は成立すべきも結局短命なりと觀測さる(北京特電)

◎超ツ式飛行船建造

獨逸は最近超ツエッペリン式飛行船を建造せり長さ二百四十米突にして四千馬力の發動機を有し其の空雷は優に十五基米突(約四里)の距離に達すと(紐育電報)

黑龍督軍問題

注目すべき黑龍江……全く黑……陸軍第一師長許蘭洲氏が畢桂……を放逐し己れ代りて督軍……桂題氏は之を容易ならざる事變として黑省に派……若し斯る僭奪を容赦するに於ては武……員を……今後の鑑戒を示す可しとの強硬意見……及び李……を凝ら……氏……黑省事件に就き密……いへり察するに張作霖……解決するや目下の處豫測し難し(北京)

……督軍問題發生せるものにて其如何に……月末に至らば大麥の成熟期に達すべきを以て餓死の慘狀を免る可きも差當り救助を要する者……秋十五石……進は現金五十圓を……九……公買一名……金(一箇月一名五六十)し之を以て……

◎臨時閣議開會 對議會策協議

二十四日午前十時永田町首相官邸に於て臨時閣議を開き本野外相より外交經過報告ありて後二十六日に於ける議場の應戰準備を協議し午後二時三十分散會せり(東京特電)

◎法律案提出打切

政府は二十三日を以て二件の法律案を議會に提出したるが今期議會は會期短き事故法律案は之れにて打切り今後一件も提出せざる由なり(東京特電)

◎補缺選擧結果

大田學校組合會議員の補缺選擧は二十四日執行せられたるが開票の結果左の諸氏當選せり(大田特電)

九十七票 青山貞次郎
九十七票 塚原義親
八十八票 村尾伊勢松

◎北滿露人の製粉業

北滿に於ける機械製粉事業の創立は明治三十六七年以後なるも其發達頗る早く製粉業の中心地たる哈爾賓露國商業會議所の調査に據れば大正元年度在北滿露國製粉會社の總生產額は百五十萬擔即ち五百三十萬封度に及び之れが原料として消費せる小麥數量は七百八十萬封度即ち二百萬擔に及べり歐戰開始の大正三年以後に於ては勞力の缺乏事業の停頓等により捗々しき生產を見ざるも露人製粉業の重なる者を列擧すれば大約左の如きものあり

商號	創立	資本金	一晝夜生產力
哈爾賓露國製粉會社	明治四十四年	600,000留	4,200布度
同	同		5,600布度
同雙城堡	同		3,800布度
哈爾賓ドリリン製粉所	四一年	500,000留	2,400布度
同イルクツク製粉所	四二年	500,000留	1,800布度
同第一滿洲製粉所	大正元年	60,000留	800布度
同カツキ製粉所	二年	100,000留	1,200布度
同モシツヤー製粉所	元年	100,000留	800布度
衛坡イメンプス製粉所	四一年	100,000留	2,100布度

如上露國製粉所を始め支那人經營の製粉所より產出する年額約百五十萬擔の製粉中約八割は北滿洲に引殘額一割は露領に輸出せらるゝその烏蘇里及び後貝加爾地方に輸出せらるゝものは綏芬及び滿洲里支那稅關を通過し鐵道に由り黑龍地方に輸出せらるゝものは哈爾賓及び三性稅關を通過し水路松花に依るといふ(哈爾賓)

◎大阪財界通信

▲賣船漸減趨勢

一時海外に賣船契約頗る頻々として成立したるものなるが近時政府者の之が防止的內意喧傳されたるより各船主に於ては隨意に政府當局の意志に反し決行するは得策にあらざるものなりとの見解を生じ且つ在來對外賣船價格は內地契約に比し約二三倍の利益ありしも強ち海外商談のみにあらず內地賣買に於ても猶利益充分ありと知悉したる結果昨今著しく賣船減少の趨勢を示し居れりと

▲運賃値上決定

大阪商船長崎朝鮮經由大連線は長崎縣の命令航路なるが一時積荷減少したるを以て廢航を企圖し同市實業家の懇請により繼續したるものなるも他航路一齊に運賃引上を了したる關係及び採算上均衡を保ち難きを以て過般汽船側より約二割方の値上承認を申請し來りたるを以て愈々來る七月三日より一割七分の引上をなす事に決定したりと(大阪支局)

◎聯隊兵舍新營

大田駐屯第七十九聯隊本部を收容すべき龍山新步兵聯隊の兵營は現に龍山三角點左方通路の正面に設營中にて多分來る九月末迄には竣工すべく工事完成の上は大田聯隊本部並に各地駐屯部隊の來龍となるべし尚ほ新聯隊の兵營は第七十八聯隊兵營と並立する事となる由なり

□寺內首相通電 李完用伯に對し

李王殿下には既報の如く去る二十日御機嫌麗はしく御退京御歸鮮の途に就かれたるが是に關し二十三日夜寺內首相より李完用伯に對し左の通り電報達したりと

李王殿下御東上に付內地官民一同熱誠を以て奉迎し御入京後も御滯りなく拜謁相濟み御退京後も御道中御障なく御機嫌麗しくあらせられ御同慶の至り不取敢右御知らせす

之に對し李完用伯は直に御懇電を拜誦し內鮮融和の爲め在鮮臣民一同と共に感泣に堪へざる旨返電したりと

◎機關銃隊充備

陸軍省は特別議會に機關銃隊充備費の要求をなし居れるが洩れ聞くみによれば右機關銃隊は朝鮮滿洲駐屯隊を先とし其の充實を企圖するものゝ由にて右の提案議會を通過し其の實施を見るに至らば現に朝鮮駐屯各步兵隊に少數宛分散し居る機關銃隊は一隊若くば數隊に擴張編成せらるゝ事となるべしと

◎東拓移民應募

東拓下の關出張所にて募集に從事しつつある同社第八回朝鮮移民の應募狀況は依然西部たる四國九州山陽道を首とし續々其の申込みを見居れるが最近の現計は約五百餘戶に達し居れり尙ほ內地應募者の審査は下の關出張所にて又朝鮮內應募者審査は本社殖民課にて之れを行ふ事となり居れるも未だ審査には著手せずとの事なり

◎田中中將着期

田中參謀次長は二十六日朝奉天發二十七日午前八時南大門驛着入京一泊の豫定なるが氏は同日午後京城在鄉軍人分會々員に對し一場の講演を爲すべく同會々員は努て出席すべしと因に開會時刻及び會場は未定の由

◎戶稅滯納原因

京畿道大正六年度第一期戶稅滯納原因の調査を聞くに滯納稅額六百零七圓五錢此の人員四千四十七人を算せるが

內窮乏に因るもの一千三百八十七人滯納稅額二百八圓十錢貧困に由るもの一千四十七人此の稅額二百二十圓五錢金錢不如意に因るもの一千六十四人此の稅額百五十九圓六十七錢納入不在又は轉住に因るもの五十八人稅額八圓七十錢死亡に因るもの五十八人此の稅額九十五錢其他の事由に因るもの五十一人此の稅額六十錢交通不便の爲め延滯に因るもの四人此の稅額七圓六十五錢

等にして京城仁川の兩府は該事項なく抱川、楊平、驪州、利川、龍仁、安城、振威、水原、江華、坡州、長湍の十一郡は何れも納期內に完納せり大體に於て本期分は調定額三萬六千九百二十五圓に對し滯納稅額は六百零七圓五錢即ち一分六厘強にして之を前年同期の滯納步合三分二厘なりしに對比する時は著るしき減退を示し成績良好に向へり

◎未納者に注意

京城府稅務課にては過般來學校組合費戶別割市街地稅家屋稅其他府稅大正六年度第一期分未納者に對し夫々督促狀の發送を了せるが該督促期間內に尙納入を怠るものに對しては來月一日より早速滯納處分に着手し動產不動產の差押を爲すべき豫定に就き未納者は本月中速かに納入せらるゝ方得策なるべし

◎臨時海員試驗事情

總督府の臨時海員試驗は七月六日より仁川海事出張所及び木浦出張所にて又十六日より釜山並に群山出張所に其の執行する事は既報の如きが之れを執行する事情は去る五月三十一日を以て朝鮮新海事法規の認めし無資格者乘船の猶豫期切れたるため少なからざる失格者を出せしに付其等の用並に八月一日より海員試驗規則發せられ科目從來より一層難解となる等のため特に行ふものゝ由

◎北鮮鹽價騰貴

本年東海岸に於ける鯖漁が未曾有の盛況を呈せる爲め沿岸一帶に搬入する原鹽の如きも平日の相場にて一圓未滿なりしもの漸次昂騰を來し最高二圓八九十錢に騰貴するに至れるが尙ほ且つ不足を告げ遂には鯖の處置に困憊するの現象を呈し居れりと云ふ(元山)

◎阪釜間運賃値上

日本郵船、大阪商船、尼崎汽船の三社は釜山より內地に輸出する貨物運賃の改正を協定し來る七月一日より實行の筈なるが改正運賃率は阪神差立穀物運賃從來百石七十圓なりしを九十圓に、同上雜貨は一噸四圓八十錢なりしを六圓四十錢に、同上鑛石類三圓五十錢なりしを五圓四十錢に値上するものにて朝鮮沿岸輸送の分も約三割の値上改正を行ふ可しと(釜山)

人事消息

▲黑田久吉氏(東京國產印刷者) 二十四日夜入京
▲淺野茂一氏(下關貿易商) 同上
▲勝田邦樹氏(鎭海郵便局長) 同上不知火へ
▲宮原水原模範場技師 二十四日朝出京

□□□□南言北話

特別議會も愈々二十一日から幕明き開會當日から早や各黨員間にはポツ〳〵緊張した氣分が見ねて居る▲政友會の赤尾君が憲政會の横山金太郎君の頭を扇子でパチリとやつたので火の手が大きくなつた▲敵味方の睨み合ひイザ鐵事にでもなると大分面白い處を拜見が出來さうな▲別けても開會當日のつたのは兵庫縣選出新議員維新會の松倉誠之君だ▲院內會の第一番乘りは實態にオ拘堂々と新聞で其の姓名を披表せらるゝ事が習慣になつて居る▲だから滅多に新聞などに名の出相にもない連中は此の一番乘りで名を載せらるゝ事を光榮として居る者もある▲が大抵定刻の一時間か精々で二時間位前にやつて來るが今度の一番乘りの松本君は九時の召集時間だのに走せ付けもしたもので今前五時▲議會の門は堅く締つて押しても叩いても開きさうな筈がない▲流石の先生も仕方無く日比谷公園をブラリ〳〵と一週も二週もやつた上旬五時五十分やつと門を明けて貰つて▲どうだ當選以來心掛けて居た先登第一を首尾よく遂たのは嬉しかろうは恐れ入る▲而して議長の當選が決定すると大きな聲で『大岡議長萬歲』と叫んで餘りの馬鹿々々しさに同志の連中から注意されたのは笑はせる▲憲政會と政友會は鳥渡犬猿ならざる仲だが政友會の高橋光威君が院內の幹部室を見廻り乍ら▲『消毒したか』と質ねるので『何故か』と聞くと▲『穢多村に間貸しをしたから臭氣が殘つてるだらう』で大笑ひ▲憲政會も憲政會で▲『政友會の奴等の亂暴たらありやしない此の室を見給へ壁に穴を穿けたり卓子掛で靴を拭ふた痕跡歷々として居る』▲と修繕やら大掃除やらで大騷ぎだつたが此の向なら何れ議場は大賑ひだらう

十歎　今關天彭

十載江湖鬢未斑。琴書何日托青山。有時冥坐長松下。夢落碧雲來去間。

骨裏

竹裏匪除一片奇。側身天地浩歌時。君看敦厚溫柔外。不解詩言不解詩。

浴衣地大賣出し

==景==品==附==

御買上高壹圓毎景品券壹枚進呈

▼六月廿日より 六月三十日迄

景品種目 …一等より九等まで… 丸帶、御召、名仙、上布 絽羽織地、縮袖下紋付地 帶側、男帶、其他澤山 …一本も空籤なし…

▼粋な浴衣地の 新柄澤山著荷

京城本町 山口呉服店 電話長三九番

◎一筆申し上げ候

青嵐すだれ吹きまく眞夏とも相成り候こころ益々御淸福芽出度く存じ〳〵。さて『千代本』こと豫て旭町一丁目に新築中の建物このたびやう〳〵落成の上此の廿四日より移轉開業仕り候。これも御客樣方平素の御力添へと幾重にも御禮申し上げ〳〵。新築の家は客間の趣向、お膳の趣味、すべてお客樣方の思し召に從ひ候上、板場の腕も御褒めに預かるやう準備り〳〵。あたりの風致は御存じの南山、月の夜半、松風のおとづれ何れも歌にふさはしく候。されば此の上とも幾久しふ御贔負の程念じ上げ〳〵。

青嵐南山の麓は旭町一丁目にて

千代本 盬澤千代 敬白

電話一一三五番 二七七九番

小兒服附屬品專門 ㊋コトモヤ洋裝店 京城旭町一丁目 電取次三七九番

引續き大寫眞提供 京城大正館にて封切

大阪每日新聞連載 德田秋聲先生原作 新派家庭悲劇 誘惑劇 七卷

新加入新派劇界の花形東猛夫は澤子、御馴染の立花貞次郎は美都子を演じ居候

米國キーストン會社最近輸入品 滑稽活劇 デブ君の奮鬪 二卷

尾上松之助命懸け水中大活躍 舊劇浪花の俠客 誰が袖音吉 上、中、下三卷 百六十場

◎本興行中一等廿五錢二等廿五錢三等十五錢

廿五日より上場 大正館

京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通) 酒井婦人病院 電話一八番 二六〇〇番 入院隨意 院長 酒井一郎

[illegible]を發し手兵三十人を隨へて入京したり馮氏の急遽着京に就きては世上種々の臆測を下す者あるも道聽途說に據れば之れ關[illegible]よりの召電に接したるが爲なりと云ふ且つ該事變に對し張作霖氏の如きは許氏の爲寧ろ其成功を喜び居れるが如きも剛直なる熱河都統美にても上長官を放逐し政府全く任免の權を失ふて地方爭奪の禍階かれ國家は其統一を失ふに至る可きを以て斷じて許氏の僭上を許さず別に適[illegible]馮麟閣氏の適材なる事を推薦せしよりこそ馮麟閣の許に右の召電下れるものなりと尚一說によれば馮氏は二十一日黎總統に進謁し又張勳督軍の[illegible]に就ては[illegible]で問題となり居り最近彼の馮麟閣、林督軍たらしむ可き計畫あるがレク軍の去就未確なる爲め其實現を見ざる折柄新たに此の黑龍

●江原道細民狀況 江原道平昌郡山谷に生活する細民が本春來の食糧に窮乏せるの狀は實に都人士の夢想だも及ばざるものあり何れ本珍富面の富豪南相弼、金憲權、林李治の三名は糧約三十石を面內細民に對して無利息貸附を爲し又同郡大和面の富者崔榮權は白米十五石趙鳳儀は現なるを以て平昌郡邑內にては同郡內細民困窮者救助の爲め同地守備隊將校四名郡守以下內鮮人官吏十名學校四名郵便局一名平昌警察署長以下面施與すべき細民部落を指示し所轄面事務所に通告し施與することゝなし六月一日より實施しつゝあり因みに製糖は日に依りて同じからざるも七八貫乃至九貫なりと

◇綠陰 (二十四日新龍山にて)

●神に型取つた人間の形體保存

總督府醫院に整形科が設けられた

◇何う云ふ事をする所か◇……其下信一氏談

這般總督府醫院に整形外科が新設されました『整形外科』と云ふ所は何をする所か」と云ふと

▽整形外科 とは文字の示す如く一般の外科とは趣を異にして居ります。其異て居る點は整形外科では專ら諸種の保存的療法即ち諸種の藥浴、熱氣浴、電氣浴、電氣X光線『ディアテルミー』體操運動『マッサージ』種々機械應用及び『ギプス』綳帶を用ゐて絕對安靜療法を主として行ふのであります。ですから

◆整形外科で取扱ふ病氣と外科で取扱ふ病氣とは

自ら異つて居ります尤も整形外科は矢張外科の一部であつて特に專門的に分れたものですから其境界は眼科耳鼻咽喉の如く一口には言ひ盡されませんが『不具者及び不具となる傾向のある外傷、並に病氣を取扱ひ

▽之れが豫防 及び治療を論ずる所である』と言ば最も判り易く大體に其範圍が言ひ露はされて居るかと思ふのであります。整形外科と申ますと何でも新しい科の樣ですが古來から日本で『骨接』とか『揉療治』とか申して居るものは整形外科の前身と申せば申しても宜しいのです

◆今日諸所にある接骨が整形外科的の患者を取扱

つては居りますが甚だ幼稚で科學の進步發達せし世に添はないものであります尤も骨接と稱して居る新進の醫師がないでもありませんが彼等の中には醫學一般の心得のあるものもありますからあながち排斥すべきではありませんが

▽安心して 依託されるものは甚だ少ない樣です西洋では今から二千五百年程前に即ち西洋紀元前四百三十年頃希臘の人ヒポクラテスと云ふ人が整形外科的の治療をして居ります、此の人は西洋醫學の鼻祖と云はれて居ります併し別に專門的の名稱は附けて居なかつたのです、降て西曆一七四〇年にアンドリーといふ人が『オルトペジー』(整形科)といふ書物を出しました

◆『オルト』といふ字は『直』とか『正』とか又は『整』といふ意味

の字です『ペジー』は小兒又は未成といふ樣な意味です。ですから今でも整形外科を或る學者は小兒外科と稱して居ります十九世紀の末葉に墺國ウインナにローレンツといふ人が出まして整形外科に貢獻しました。それ故に此の人の事を近世整形外科の開祖と申します。

▽少し遲れて 獨逸の伯林のウオルフといふ人が『骨の變態則』といふ書を出しました此原則は今日の整形外科治療の基礎を作つたものであります之れを簡單に申しますと『骨は或る方法に依り形が變化するものだ』即ち外から切らないでも形を變ずる事が出來るといふのです。

◆此の人の後繼者にホツファといふ人が『オルトペジー』

と外科とを結合して初めて整形外科の名を冠したる書物を出しました爾來一般に整形外科の名が行はれ醫學の進步と共に今日の整形外科を生むに至つたのであります何れ詳細は東洋に於ける整形外科の沿革と共に機會を見てお話し致します(つゞく)

●邦商人馬賊に斬らる

滿洲四平街神野洋行主神野貞藏は商用を帶び大疕痘に滯在中二十日午後二時頃支那人從者吳と共に屋內にて賊の爲め傷けられ重態の報あり同店主婦は直ちに四平街滿鐵院長を伴ひ守備兵二騎巡警四騎の護衛を受け二十一日午前二時出發し救護の爲め遭難地に向け急行せり(大連)

●漢江に投身

廿三日の漢江觀火大會にては警護行屆きて附近には何等事故もなく一般觀覽者も引揚げつゝありし午後十一時頃二村洞汽車鐵橋下附近に內地婦人の溺死者あるを通りかゝりたる京城本町四丁目張基源外二名が發見して憲兵に急報し協力して引揚げたるに人事不省に陷り居るより龍山分隊に連れ行き應急手當を加へしかば幸く蘇生せしが取調べの結果京城黃金町一丁目鐘商山本伊三郎妻すみ(三七)と判明せり同女は豫て總督府醫院に入院加療中數日前退院せしも極度のヒステリーに罹りて稍精神に異狀を來し居る模樣なるより家人も注意中の所同夜家出したるより娘某(一七)が追跡したるに朝鮮銀行前附近にて人込みの中に紛れ入りて見失ひたるがすみは其儘漢江迄赴き前記の投身自殺を企てしものゝ如く二十四日朝家人が引取りて目下靜養中

●元氣の好い土州山

▣その相撲振りと共に ▣氣前も磊張してゐる▣

▣髮は鳥の濡れ羽色、水も滴たるやうな稍落しの大銀杏に、通ばれ幕內力士の貫目を見せ『堂々と八文字を踏んで土俵に颯爽たる姿を現はし左右に撒き散らす鹽、減は此の力士に見る姿態美である。

▣いかなる勁敵に向つてもニツコリ笑つて仕切り、悠ろに秘した寸鐵を揮つて決然として驀進する、小粒で辛い、十年一日の如く激刺たる相撲振りを見せるのは吾が土州山である。

▣一時は大關常陸山に打突かつて苦しめた事もあつたが、今日ではその頃程の元氣はないが、それでも火の玉のやうに烈しく打突かつて若手の互砲の間を潛つて相當に取りこなしてゐる。

▣稽古もよくするが酒もよく飲む、飲めば陽氣で唄ふ踊る、仲々陽氣な方だとやら、又その相撲振りと共に氣前も磊眼りしてゐるので贔屓連中に騷がれるのは黑瀨川と同じである。

●初日取組發表

▽本紙讀者の ▽木戶錢割引

東京大角力太刀山伊勢濱一行は愈々二十七日乘込み二十八日初日と決定し別項の如く取組みを發表したるが角力場に充てられたる明治町の空地は巳に小屋掛けに取懸りたるが、二十六七日頃までには出來上るべく各ビール會社その他にて積樽積籍等を爲して景氣を添ふる由、入場料は大人三十錢小人二十錢なるが、團體見物に對してはそれ〴〵割引あり、普通入場者には本紙刷込みの割引優待券持參の者に限り十錢宛の割引を爲すべし

●筏夫の大爭鬪

平北中江鎭下流十五町位の鴨綠江にて營林廠の筏四組と支那人の筏六組が六月十五日漂流木材拾得のことより一場の爭鬪を惹起し支那人一名即死し一名負傷し內地人筏夫三名輕傷を負ひたりとの報あり目下取調查中なりと

●恐るべき奇病

攝津尼ケ崎市に奇病發生し死亡者續出せしが其病症は當時腺ペストと診斷されたるも其後檢鏡の結果流行

▽連鎖球菌病 と斷定されたり同病は大正三年七月頃沖繩島に發生し同四年四月迄の間に千餘名の患者三百數十名の死亡者を出し外國にては千九百十二年北米合衆國にて大流行をなし市俄古市にても一萬の患者を出したる事あり該菌は創刀傷及び臍緒の落ちたる跡等より侵入する丹毒菌と同性質のものなれども性質獰猛にして

▽繁殖力甚し く二十秒每に倍加し二十四時間中には三百四十億の多數に達する恐るべきものなり傳染は主として傷口よりすれど時としては呼吸器又は眼より侵入する事あり傷口より侵入するものは淋巴管炎皮下蜂窩炎筋肉炎等を起し呼吸器よりするものは肺膜炎、肺炎を起し眼よりするものは扁桃腺炎を起し何も

▽全身に瀰漫 し四十度內外の發熱あり皮膚は赤色を帶び一般に水腫の狀態を呈すその最も戰慄すべきは陰部及び乳房に感染せる場合にして數日後は悲慘なる壞疽の狀態に入り表皮全く脫落の體となる該病豫防藥としてはワクチンを注射し治療藥としては血淸を良藥とす(大阪)

◇ランチウの飼ひ方◇

▲江原善槌氏談▼

◇『ランチウの逸品になると、先づ一尾二三百圓の値段と見てよからう。上等は何歲位の中に五ツか六ツのもので、なか〳〵得難い。なに私の金魚か、これは淺草千束町の石川龜吉方で求めた。京城にかへるまでにも少しづゝ水をとりかへるために廿際以上も降りたらう——。』とのおはなし。

◇遠方に運ぶのは先づ三月一ぱいだこのはなしで內地から北海道へは二月ごろ送る。◇金魚の價値は何處にあるものですかと訊ねると『先づ第一に頭のあがり工合、第二胴の格好、第三は尻尾の樣子、次ぎには鱗の寸法の揃ふこと、さてまた游泳ぎ工合も問題となる——それは泳ぐとき尻尾をすぼめ、さまつた時パツと開くが上等とせられてゐる——』とのこと。

◇イヤハヤ金魚もなか〳〵むづかしいものである。また同じランチウの中にも頭の白い銀色のもあれば、更紗形もあり、丹色もある。これが黃金の鱗でユラ〳〵と水に泳ぐところはなかなかに可愛らしいものである

◇金魚の餌はイトミミズ、アカメボーフリがよい。他に麩とイリコのつきまぜの團子もあれど右の生き餌に越したことはない。イトミミヅは井川に居り、ボーフリは溝水にゐるが粉子のやうなのはアクが强くて金魚の色を損ふことがある。

◇また餌のやり方は金魚が二三十分間で喰ひつくす位にパラ〳〵と撒く、時刻は朝の六時頃と晝は一二時三時頃がよい。尤も餌は東大門外の金魚屋から買つてもよいが餌の貯藏はウナギなどと同じく常にチヨボ〳〵流れの潔る水が要る。

◇しかしよく世間ではガラス瓶などに飼ふ金魚ならば一度も餌をやらんでよし。荷も飼ひは只だ時々水を換へてやるとか大事である。(つゞく)

●大田の大相撲

二日目の勝負

大田に於ける東京大相撲二日目(千秋樂)の勝負左の如し(大田特電)

筑後川○室戶崎 小嵐○竹根松
大刀嵐○友の山 國見崎○荒玉
清瀨川○若島 取鳥○紅葉川
黑瀨川○土州山 大刀山○伊勢濱

▲決勝五人拔 京城日報社大田支局寄贈相撲決勝五人拔は東は若熊、室戶崎、友渡、大刀嵐、外一名(氏名不明)西は鞍ヶ嶽、友鶴、四國洋、友の山にて猛烈の取組ありしが終に引分けに終れり(大田特電)

●搏鬪して逮捕

全南荒しの兇賊

全南海南郡馬浦面洞岩里朴根(三二)の外羅州郡金川面細柳里李小者(三七)の外目下光州監獄に服役中の金俊五(三二)吳承奉(三二)李洪三(五二)李化先(四二)李明洙の六人は去る大正元年以來强盜團を組織し夜は各自種々の行商人に化けて夜は部落を定めて集合し彼方此方と押入りて兇器を示し家人を脅して金品を强奪し或は金品を提供せざるが爲めに傷を負はせ又は取るべき物品なき爲め婦女を辱ぶ等甕岩、涵南、康津、長興、寶城、光州、羅州、咸平、務安の九郡を股に掛けて出沒自在强盜を逞ふし居る內前記金俊五、吳永奉、李洪三、李化先、李明洙の五人は漸次逮捕せられ殘る首魁たる林春根及び李小者のみは依然其筋の眼を晦まして最近務安郡玄慶面玄北里金長順方へ押入り主人を縛し金品を提供すべく命じたるも應ぜざりしかば妻李姜今を出刃庖丁にて脅し付け鄕かしめ立去り其夜同じく三四軒を襲ひ或は光州に現はれて極樂面の酒幕にて金六圓を强奪したる等其犯罪七十一件に上りたるが各署隊にては所在搜索中本年四月下旬榮山浦憲兵補助員推昌善が羅州旺谷面石井里に潛伏中の兩名を搏鬪の末逮捕し兩賊は榮山浦分隊にて取調べの上光州地方法院に送られたり

●不正漁業者檢擧

慶北迎日郡東海面與田洞居住鄭萬道(三五)李鈺鎭(二三)鄭士榮(三〇)河肯坤(二二)鄭萬守(四六)の五名は六月六日及び同月十一日の兩日に迎日郡東海面發山洞同與田洞沖合に於て爆藥を使用し鰤七尾を漁獲したることを浦項憲兵分隊に於て六月十六日犯人全部を逮捕し目下取調中

金牌受領

冥加の頭髮用(チツクびん附代退形)

本椿ポマード

本舖 大阪西横堀 三宅堂

●喜の雨

むし暑かつた二十四日午後の空が夕方から急に破れて小粒の雨がポツリ〳〵と降出し夜に入つて愈々本降りとなりさうな氣配を見せたので一般に『好い濕りだ』と喜び合つた

佛國發明協會名譽會員藤木先生發明

特許防水衣(特許防水衣)

紳士用高等防水衣は布帛の色艶を損せず表裏布帛の間にゴムを密着し防水力確實、ベタツカズ、コワバラズ體裁宜く縫目にゴム布を貼れる長まんと、トンビけつぷ 一着三四円〜二十圓迄 インバ、まんと外套各種

見本及定價表無料送呈

京都府上賀茂 星川發明部 振替大阪二七八九

鑛區買入

銅鐵鉛 亞鉛鑛 鑛區買入致候

但許可權先願權及新發見共

右希望者は直接御申込相成度候

京城旭町一丁目一〇三番 二友鑛業事務所 電話九五五番

試金用各種坩堝壺販賣

東京內藤新宿 日本種苗株式會社 種苗代價表 無代進呈

華道家元 池坊 生花 教授

出稽古日割 一、六、二、七の日龍山、三、八、の日京城 四、九の日永登浦、五、十の日仁川

時間 自午前九時至午後十時

申込所 新龍山漢江通 今井秀甫

御申込の方はハガキにて町名御住所氏名明瞭に御記入の事

京日案內

普通一回前金 普通五十錢 番外一回前金(一週間分)

▲申込後中途解約中止の節は前金返戻せず ▲六回以上の御申込は特に割引 ▲御照會の節は返信料あらざれば回答せず ▲御照會の節は必ず數字の番號御記入を乞ふ

普通

●市內不動產擔保低利金融 京城明治町二丁目六十三番地 山田(日本商店前入) 183

●求職入 西洋洗濯及洗張に精通せる職工一名至急入用待給は技術次第 北忠用錦町 福屋洗染工場 185

樂器萬年ペン物理機械謄寫版の修繕 本町ウツボヤ書店工作部 電話三三七 149

番外

●北米倉町百六番地家屋專用水道附 敷地百十五坪賣却す希望の方は同所山川へ來談又は照會あり度し 178

●はねつぎ うちみくじき 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場 59

京城春川 乘合自働車 片道金四圓 ●京城驛前八時 ●春川驛前八時 京春自働車商會 京城水標橋通り 電話二一三八番 松田善男 72

魔法瓶及魔法瓶中瓶取替 京城本町一丁目 高木旅行用具店 電話一三四番 91

高貴藥配合 くだりどめ 最新良劑 淸腸(セイチヨー)

高橋盛大堂藥局試驗部創製

主效 ●胃加答兒 ●腸病 ●霍亂 ●赤痢 ●下痢 ●飲食物不消化 ●疫痢 ●冷の泄瀉及び水傷り、其他諸病より起る一切の下痢に用ひて大效あり

特長 ●淸腸で、くだりを止め腹工合の氣持のイヽ事

價十錢 二十錢 五十錢 壹圓

本舖 大阪堂島 高橋盛大堂藥局 全北賣捌 全州 高橋盛大堂分店

義手足 せきずい。コルセット 大きん玉ナヅス 器械

京城本町一丁目五一 高野義手足製作所 電話一〇六

新案輕便學丸鈎發賣

最新刊

書名	著者	定價
佛教法具便覽	櫻井常存	二、五〇
釋迦牟尼傳	常盤大定	一、〇〇
米國敎育槪觀	山內佐太郞	一、〇〇
法華魂	清水日風	一、二〇
出家とその弟子	倉田百三	一、〇〇
歐洲政史槪觀	瀧瀨哲士	一、〇〇
戰後獨逸商業	外國時報社編	八〇
六年四月 新聞年鑑 第三四卷 第二卷	宏遠社	八、七〇 五、六〇
思索と體驗	西田幾多郎	一、〇〇
長塚節歌集	長塚節	一、三〇
捨兒	森田草平	六五
獨步集	國木田獨步	五五
散文詩	生田春月	五五
縮刷 心	夏目漱石	一、〇〇
縮刷 道草	同	一、〇〇
冒險奇談 絕壁魔城	宮崎一雨	四五
歷史物語 血戰記	川島[illegible]一郎	八五
手段の秘訣	瓶金準一	八〇
東語指南	文求堂編	八〇
受驗必攜 朝鮮公文解釋	安達大壽計	四〇

大阪屋號書店 京城本町一丁目 振替京城二五七三番

原料香木 オリヂナル

宮內省御買上品

月と日が世界を支配する如く香水界は全くオリヂナルの世界となつた

朝に一滴 晩に一滴

言ふに言はれぬ床しい匂ひ

東京本舖 安藤井筒堂 關西代理店大阪 藤森源之助

花筐(はながたみ)（三六）

松田竹の島人作

田淵は、幾らか氣遣ひらしい擧動で、

「私がお前に頼んで、京子さんを敎唆させたことが分ると、私は市野の家庭を紊亂させたやうなもんだから實際困るのだがねえ。」

「大丈夫分るやうなことはありませんから、御安心なさいまし、又分つたに爲ろ、其個に然うなんだから可いぢやありませんか、其事が原因と爲つて、貴方が彼の會社をよされても、帝國大學を卒業なすつて、法學士といふ肩書を持つて居らつしやる貴方ですもの、市野さんの會社ばかりでなくつても、何處にでも御勤め先きがあるでせうに、貴方は見かけに寄らない度胸のない方ねえ。」とお豊は一種嘲るやうな口調である。

「私は、全く度胸がないのだからねえ。」

「猫を冠つて居らつしやるんでせう。」

「然う言はれると、私は大變な惡黨のやうだねえ。」

「惡黨でないこともありますまい。市野の旦那が、毎晩會社の要で蹴りが遅いのを、待合入りを爲て、藝者に浮かれてゐらつしやるんだつて、妾から奥樣を焚きつけさせて、あいふことにさせた貴方ですもの」とお豊は冷かすやうな絡むやうなことを言ふ。

田淵は宛も慰撫るやうな口調で、

「私がお前に頼んで、京子さんを敎唆させたことが、分つたんでなけりや、それで可いさ。然うして什麼いふ理由で暇を出されたのかね?。お前が市野の所に居てくれないと、萬事不自由で困るんだがねえ」

「貴方も御存じでせう。乳母のお島ねえ」

「知つてるとも……彼奴が什麼か爲たのかね?」

「彼奴が古く居るもんだから、意張つて、憎らしくつて仕樣がないでせう。だから二六時中楯突いて遣つたんですよ。今日お孃樣がバナヽを喰べたいと被仰るので、妾が買ひに往つて歸つて來ると、今度の日曜にお母樣に逢ひに鎌倉へ往かうとお孃樣が言つてると、乳母が奥樣の家出なすつたことを、へし隠しに隠して、旨く誤魔化さうと爲てるもんですから、構はずに妾が素破抜いて遣つたんですよ」

「お前にも似合はん不足言んことを言ふぢやないか」

「だつて憎らしくつて仕樣がないんですもの。然うすると向きに爲つて、何んとか、かんとか言ふぢやありませんか、此方も日頃のことがあるから、負けずに言つてますと、其處へ旦那が歸つて入らつしたんですが、何んでも其事を根にして、妾のことを乳母が言ひつけたらしいんですよ。それで暇が出たんだと思ひますが、市野さんばかしに御太陽樣は照りやしませんからねえ。」

「其麼ことで暇を出されたのか、何んだ」と田淵は心を安めて、莞爾と微笑を洩す。

お豊は、少し膝を乘り出して、

「ねえ田淵さん、恥を申す譯ぢやありませんが、妾の實家は貧乏してるんですよ。ですから實家へ歸るよりか、此方に置いて戴かうと思つて來たんですから、何分宜しく願ひます」

田淵は、お豊に京子を敎唆煽動することを頼んだ弱味があつたから、菅なく斷る譯には往かなかつた。

「可いとも、何時までも此處に居るさ。併し市野の處見たやうに御馳走はないからね。」

「それぢや置いて戴きますよ。」

「差支ないとも。」

「有難い、これで安心した。」

花莚 各種 柿澁 卸小賣 京城龍山漢江通入 金川商會 電話六四八番

諸官廳御用達 山羊乳 京城獨立門東側 山羊牧場 電話一七七二番

◉俳句大會(二)

○午後席題「旱」「紫陽花」作者卅四名、選者卅四名、互選結果、さいかい(廿八點)南丘(廿三點)山民(廿二點)非城、春醉(各十六點)呉山、迦南(各十五點)星羽(十四點)江畔、踏青子(各十三點)田打夫(十二點)江石、水于(各十一點)玄波(十點)以下略

十一點
旱に剝けては落る屋根の苔　さいかい

七點
大旱の藻に飛ぶ魚の光り哉　青丘

六點
仙人掌の刺に蜻蜓ふ旱かな　非城
紫陽花や熱退る兒を見入る妻　迦南

五點
掃き寄せ庭に犬立ち去る四葩哉　山民
父母知らず孫と佗住む四葩哉　春醉
旱天や毒草の花赤々と　新海

四點
樹の汁にかぶれて痒し旱雲　青丘
紫陽花や優しいへど性は語氣　同
紫陽花や反向いて湯浴み人　さいかい
畦越せば遠沼光る旱かな　同
足跡に蜻死に付きし池旱　踏青子
砂利かつぐ囚徒の群や河旱　昌山
四葩葉の埃斑らや通り雨　江畔
旱魃の黄塵に日只赤きかな　春醉
尾の切れし折蜥蜴追ふ鶏や四葩咲く　星羽
牛車行きて旱の道に尿の跡　玄波
紫陽花や遺骨納めて暗き宗　江石

三點
露ゆでし汁撒く庭や旱雲　星羽
紫陽花や姉胳血に慣れてゐる　同
居所見ねて進まぬ牛や旱雲　小翠
草笛に集る山羊や旱雲　同
網打の裸に裂や旱雲　山民
紫陽花や庭土とりて籠る榮　同
紫陽花や出入り狹き朝鮮門　田打夫
紫陽花や姉に壓さるゝ朝鮮家　同
折廂の砂にまみれて旱る道　草緑
胎桃のはた〳〵落つる旱哉　水于
紫陽花や下駄の歯替ゆ鉋屑　雨月
水死ありて埃立つ人や川旱　華城
月赤き旱の空の蕣かな　橙黄子
紫陽花や髮毛集めて焼く臭ひ　浩一郎
四葩散るや再た嫁ぐ心なかりけり　非城
紫陽花に甕の蚊飛ぶ庭裡の軒　昌山
墓山に甕顏盛る旱かな　さいかい

其他左の句あり
手をつけば傾く卓や四葩亭　竹水
旱五旬居を移す民の哀れ哉　楓亭
山畑の旱に走る裂目かな　但人
手を打つて鳩呼ぶ僧に四葩哉　偶蝶
橋杭の根を燒く煙や旱人　非水
紫陽花に何の身寵や雨に讀む　黄緑

◉又々レート化粧料の光榮　平尾贊平商店のレート化粧料は畏くも毎に宮内省皇后宮職、各宮家の御用命が邦し居れるが今回王殿下御來朝に際し又々宮内省調度寮より現多種化粧品の内特にレート化粧料を多數御買上げ相成るの光榮に浴したり

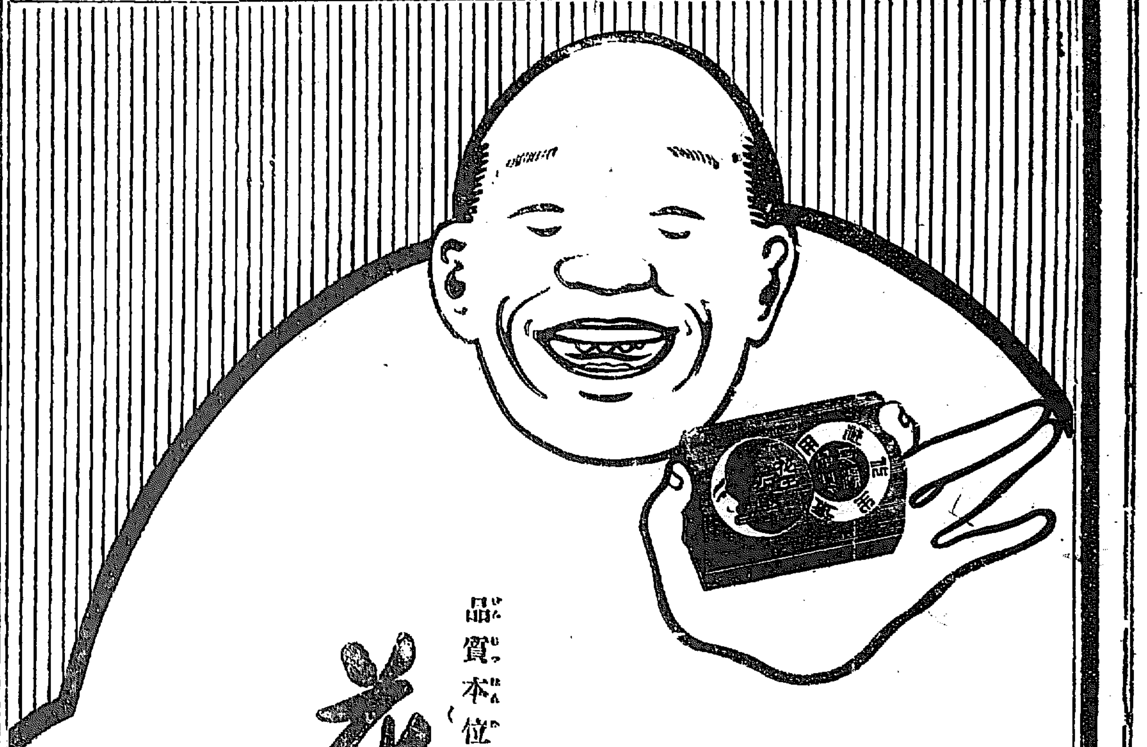
外商館と邦商

頃來神戸に於ける海外貿易の中樞は、[illegible]元居留地に於て繁榮を維持されたる[illegible]より本邦商人に移り居留地の外商は本國又は上海香港等に引揚るもの續出する有様にて最近に至り又復神戸[illegible]本店を横へ五額の資本を擁して海外諸國本邦にては横濱を日本の支店とし其他神戸長崎等の各開港場へ支店[illegible]のにて數ある神戸元居留地商館中にても一、二を爭ふ有力商館なりしが何分開戰後本邦諸物價の騰貴した[illegible]拮抗すべくもあらず勞同一商品にして外商の仕入價格は邦商に比し勢ひ商値を唱へざる可からざるを以て同[illegible]有力邦商と種々凝議の結果同商會の輸出部に關する業務を日本人側に讓渡す事に協議一致し新に日米貿[illegible]も合併經營する由にて大阪に本店を支店を横濱神戸に設置し米國貿易商會は單に北米合衆國英國濠洲及び南[illegible]

[illegible]に於ける貯金状況を聞くに年と共に增加を來し居れり之を大正五年十二月末の現在に見るに内地人五千九[illegible]みに前年度との比較を示せば左の如し(元山)

	四年度	五年度
貯金口數	[illegible]	[illegible]

國産隨一の石鹸はこれ！



品質の良いと、値段の廉いと、信用の厚いと、賣行の多いと、總ての點に超越した

品質本位 花王石鹸を

お忘れなく御愛用下さい。

花王石鹸 花王香水香油 製造元 東京馬喰町 長瀬商會

朝鮮輸入元 日本花王石鹸香水關西代理店 大阪安土町 大崎組商會

髪の艶と形とをこんなに好くする！

今迄誰人もモツトいい油はないものかと思つてゐた、其要求に應じた美毛料で、中には髪の質を毛鬚まで良くする原料を含み、水くない黒髪とし髪の形を永持させる衛生美毛の最上品です

髪結さんの大評判となつた

植物性 美毛料

ホーカー美髪液

髪結競技會専用品

特效
●髪を黒く艶々させる
●髪の髄まで營養を與へる
●チヂレ毛クセ毛を直す
●粘らずサラ〳〵と心地よく
●毛の成育とのびとを補ける
●フケを去り拔毛を止める

最寄の店に品切れの節は振替又は三錢切手代用にて御注文下さい

定價 小瓶二十錢 大瓶廿五錢 送料(內地無料 朝鮮滿洲臺灣)

ホーカー液 ホーカー白粉 ホーカー美髪液 ホーカースポート 本舗

東京神田和泉橋 堀越嘉太郎商店 (電話神田 特長一四三 一四四 一四五 振替口座東京一五六一四番)

髪結さんの評判をお驗し下さい

花柳病専門 外科
●梅毒●淋病●泌尿生殖器病 ●痔疾●癩病●肛門病●皮膚病 婦人病●神經衰弱ヒステリー
京城南大門通殖工銀行裏 司生堂醫院

阿波共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行 關東都督府命令航路
第廿共同丸 六月 日午後入港 六月 日前十時出
別館鐵道主要驛にて荷客通絡輸送御取扱仕候 大連にて青島行定期船接續荷客共通輸送可仕候
阿波共同汽船株式會社
本町四丁目(電話一七三番) 仁川代理店 野口商會
本日町(電話二四四七番) 元山代理店 田口回漕部
南大門(電話二六八、二〇一七) 京城取次店 河村運送店

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行
和歌浦丸 六月 日後五時出帆
○立神丸 七月 一日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行
和歌浦丸 六月三十日後十時出帆
○立神丸 六月 日後四時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行
第三琴平丸 月 日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行
第三琴平丸 月 日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
天草丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

朝鮮郵船出帆
本社 電話長一九五二番二三二番 京城南大門驛前 松原運送店(電話長一七〇番) 鐵道會社及社外船と荷客連絡運送の便あり詳細は支店、出張所、代理店荷客取扱店に御照會被下度候
○江原丸 六月 日
○京畿丸 七月 二日
○黄海丸 六月 日
○咸鏡丸 六月廿八日 門司より釜山各港寄港雄基間航路 釜山發
○穩城丸 六月廿七日
○昌平丸 六月 日
○鏡城丸 六月 日 元山より各港經由雄基行 元山發
○慶寶丸 六月廿六日 元山發長崎行
○慶寶丸 六月廿五日 長崎發元山行
○盈德丸 六月廿七日 廿浦、九龍里、浦項各港寄港欝陵島行 釜山發
○江陵丸 ○襄陽丸 毎日 長生浦方魚津寄港 浦項 釜山發
○三浦丸 六月 日 長承浦、欲知、巨文島、濟州島各寄港 釜山發
○濟州丸 ○統營丸 ○巨濟丸 ○慶鎭丸 毎日 各港經由濟木浦行(一日隔木浦行) 釜山發
○平壤丸 六月 日 城津清津雄基行(釜山より元山又は長崎行) 元山發
○順天丸 三日目毎ニ 各港經由麗水行麗水より釜山行に接續 木浦發
○慶興丸 六月廿六日 各港經由濟州島行西廻 木浦發
○慶興丸 六月 日 濟州島、多島海列島行月三回 木浦發
○公州丸 六月 日 各港經由濟州島行東廻 木浦發
○麗水丸 ○晉州丸 六月 日 六月廿七日 各港經由木浦行 仁川發
○宗信丸 六月 日 海州他各港經由鎭南浦行 仁川發
○全州丸 ○南陽丸 毎日午前 江華島、喬桐島、海州 仁川發

大阪商船仁川出帆
○外航船所屬航路(清津航路を除く)同連絡郵乘船の時は五分引を以て乘船切符發賣仕候
△門司、神戸、大阪行
南都丸 六月廿八日
×汕頭丸 七月二日
△南都丸 七月十二日 後二時出帆
◉神戸、大阪行 汕頭丸 六月 日後五時出帆
×木浦、釜山、嚴原、鎭の浦、長崎行
安東丸 六月廿五日
×安平丸 七月十三日 後二時出帆
○横濱行
濟州丸 七月五日
△福州丸 六月廿六日 後二時出帆
◉南浦行
福州丸 六月 日
△南都丸 六月廿五日 正午出帆
◉鎭南浦、大連行
安東丸 七月八日
×安東丸 七月廿六日 後二時出帆
◉大連直航
×遼州丸 六月 日
△福州丸 六月 日 正午出帆
◉西湖津新浦城津清津行(元山出帆)
安平丸 六月 日後十二時出
◉清津行(元山出帆)
須磨丸 六月 日後十二時出
◉上海、基隆、打狗行(大連出帆)
湖北丸 七月六日前四時出帆
大智丸 六月廿七日後四時出帆
御注意 ◉朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社と聯絡連帶切符發賣仕候◉印乘船客は本船出帆一時間前無賃送迎可致候◉×印は一等船客御斷り△印は船客御斷り
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二二番、二二〇番、五五八番
切符發賣所 內國通運會社京城支店 電話七〇八番
切符發賣所 仁川京城通り 開港旅館 電話二六二番

日本郵船仁川出帆
○大連行、太沽(天津)牛莊行
相模丸 六月 日正午出帆
高砂丸 七月五日正午出帆
三河丸 七月十五日後六時出帆
仁川海岸町十一丁目 代理店 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
○君が代丸 六月 日後四時出帆
○大有丸 七月一日後四時出帆
○秀吉丸 七月四日後四時出帆
○神代丸 七月 日後四時出帆
仁川海岸通三丁目 電話五十九番 高杉回漕部